

北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料

2015年5月31日 謁見収録 No.01

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

きのうえらい早かったね、解散

メンバー：

そうですね

メンバー：

9時半ぐらいです

真田 孔明：

そうですね。地震があったということで電車がとまっちゃったから早く帰りましょうみたいな雰囲気になっちゃいましたね

北野会長：

そんな感じやったね。俺が帰ったらさ、かみさん、え、あんた、どうしたのって？

真田 孔明：

でも、電車、全部とまっていたみたいですね。あれね。何か・・・

北野会長：

本当？

真田 孔明：

結局、みんなタクシーで帰りましたよね

メンバー：

山の手線が復旧したのが12時近く

北野会長：

本当

真田 孔明：

会長はホテルに泊まれたのですね？きのう

北野会長：

私はニューオータニに泊まっていたから

真田 孔明：

エレベーター大丈夫でした？

北野会長：

エレベーターね、本館は全部とまって

真田 孔明：

とまっていた。やっぱり。40階どうするのですかね・・・それ？

北野会長：

俺も言わなきゃいいのに歩いて行ったらみたいなことを言うて。左側の低層階21階ぐらいまでは動いてるんやて。行ったら何かずらっとさ、手前のエレベーターホールまで並んでいる。これは何をやったのかなと思ってさ。そしたら、エレベーターが動かんから、「部屋に戻らんとお前どうやこうや」いうから、「おじさん、歩いて行ったら」みたいなことを言ってひんしゅくを買ってしまって。言わなきゃいい一言・・・ダメやなこういうこと言っとってたら・・・

北野会長：

いいね。すごく暖かいところやね

真田 孔明：

暑いですね。外とは・・・あれだったんですけど。済みませんでした

真田 孔明：

全員分いききましたね

北野会長：

ご苦労さまでした

北野会長：

最近、酒の飲まない人もふえてきたね。酒を飲まない人

真田 孔明：

飲まないのですか？

メンバー：

飲めないのです。飲み屋ですけど。昔から・・・

真田 孔明：

店長なのに

メンバー：

もともとです

北野会長：

でも、飲み屋の人って飲まないから冷静に見られるからいいんじゃないの？

メンバー：

どちらかですね。めっちゃめっちゃ飲んでも変わらないか、飲まないか。中途半端が一番やっかいですね

北野会長：

でも、一番最初に体を壊して死ぬ人は大体、飲んでいる人はすぐ死ぬよ。毎日の酒も余りいいことはないみたいね。早死にしたいと俺みたいに毎日、酒を飲んどればいいけど

メンバー：

毎日ですか

北野会長：

俺、毎日やね。酒を飲まないと

メンバー：

お休み日がなしですか

北野会長：

それでよく医者さんに言われるのやけど、仕事も酒も休まず働かずみたいなようなタイプやから

メンバー：

でも、今からまだ円安になるんだったらハワイももっともっと高くなるっていうことですか？

北野会長：

そうそう・・・でも、物件を売ると売ったことを思うと甘い話もまたレース的にはあるがやて。だから、いかに金を・・・高い80円のときに今からハワイに行ってまた、それをばらばらと使うと80円やからって、ばかにするやる？使うとあっちゃん間になくなる。これからは逆にスーパーに行って買い物をしてさ、部屋で物をつくって食べるとかさ

真田 孔明：

僕も今回、コンドミニアムを借りました

真田 孔明：

結局、料理代が高いですね。あそこ・・・料理代が

北野会長：

酒と料理が高いね

真田 孔明：

行くとしても・・・ショッピングモールの白木屋に行って、1USビールを飲んで

北野会長：

全体的には経費がかかるとこやね

北野会長：

あなたは部屋は持っているの？ハワイに。

メンバー：

持っていないです。コンドミニアムを買いたいのですが

北野会長：

買いたい

メンバー：

中古の3,000万ぐらいで

北野会長：

3,000万。3,000万でハワイにコンドミニアムなんてないよ

メンバー：

中古で40年ぐらいたっているのだと

北野会長：

ある？

メンバー：

はい

北野会長：

本当

メンバー：

そんな広い部屋じゃないです。1DKぐらい

北野会長：

今度の投信の仕事は、弾集めがほとんどの仕事やから。それぐらいに思うとって。きのうの株については自分の勘と度胸と余り大きな勝負はせんといてね。あの人、どうしたの言うていうから 笑

真田 孔明：

ここ最近、来なくなったって 笑

北野会長：

そういう極端な勝負はしないように。まずは物を売る練習、売る練習やよ

サツチェル：

信用取引は3倍マックスでやられているのですか？

北野会長：

全然。そんなことないでしょ。ほとんどは現金でしか動かない。下がって、下がって、ここだっていうときに信用買いも少し建てておこうかということで最後の30万株目の10万株を信用買いで売ったりすることはあるけど。やっている株はほとんどキャッシュや。ただ男の意地みたいなもん。女の意地やないけど、やっぱりこれは早々はないやろなんて思ったときの10万株ぐらいは信用で建1玉使うということは。私はきのう皆さんに言ったのは、せいぜい、2~300円の株なら1万株ほど売ったり買ったりする練習をしておいてください。200万か300万でさ、1万円か2万円、上がったたり、下がったりすれば・・・それを言っとった。きょう、さっき俺、うちのに言われて読んだ、細かい動きをとるというところをちゃんと磨いていないから、それを言いたかった

北野会長：

あそこはちょっとね、僕も今まで勘違いしていたので・・・ちょっと。やっぱり20円ぐらい上下しないと、刺激的じゃないかなと 笑

サツチェル：

きのうわかりました。もうやれます。もう。1円でいいんだと

真田 孔明：

上下が逆でないほうがもうかる。概念がぱんと割れましたね

サツチェル：

また、サチりましたね

北野会長：

皆さん、本当にでもね、何か私の言うことの真逆をやる人が多いんやて・・・この

真田 孔明：

世の中の大多数はそうですね

サッチェル：

そうです。そうです。世の中の大多数は・・・

真田 孔明：

上下が激しいやつを狙っちゃいますね

サッチェル：

あるやつを選んで・・・

北野会長：

俺が間違っのか、あんたらちが間違っとるのか、本当に何か言ったことの真逆、真逆と考える人が多いから。私の言うたことをちゃんと見つめて。波がないんやつ・・・上がらん株が一番いいなんていうのは世の中に俺ぐらいやけど。金持ちは喧嘩せず。昔から「金持ち喧嘩せず」当たり前のことやから。金持ちになったら喧嘩なんかせんが。喧嘩するやつは必ずね、金のねえやつにクチられる。お前、貧乏人の横に友達でもおってよ「おい、頼むぞ、きょう何かおごってくれよ、おい」必ず言うんやから。貧乏人は

真田 孔明：

それでおごっても文句を言われるんですよね 笑 あいつは偉そうにとか・・・笑

北野会長：

あいつは偉そうに俺のね・・・こうなるんやて。だから、金を持ったらね、貧乏人とは付き合はん方がいい。愚痴ちられるだけ。貧乏人は金を返さんだから言うてね、これは当たり前と思っ

真田 孔明：

どうせ、もうけているんだからと・・・

北野会長：

これはちょっと借りたけど、貸してもらっただけや。最後には俺の流儀になって、貸してもらったんやから返す必要もないわみたいなことになるんやて。我々なら利息を払う・・・借りたお金を。でも、貧乏人はね、借りた利息も絶対に払わんやて。元本も踏みつけてというのは我々との違い。我々はだから一緒にのこともやっても格が違うんやて。俺から言うと考え方が・・・格別に高いレベル・・・わかった？みんな、俺の顔を見て高いレベル・・・低いレベルもだめやよ。そういうことを言いたいわけよ。だから、あなたも投信は大分、買われたの？

メンバー：

いや、まだ全然やっていないです

北野会長：

あんた、本当にさっぱりした人やね。隣の人に聞いて、そういうところは・・もう、弾打ちをだいぶんやっとりらしいから

真田 孔明：

でも、ここに入るまでは・・

メンバー：

僕もやっていないです・・ここで

北野会長：

本当

メンバー：

そうなのです

北野会長：

悪いことに手を染めていたんじゃないの？そうじゃないの？本当？でも、皆さんね、結構、俺の知り合いでも聞いていると、やっぱり何千万、何億、持っている人も投信なんて俺、やったことないとかさ。金をどこに置いてあるのって言ったら、そりゃ銀行に決まっとる。あの堂々と言う・・全然わからんね

メンバー：

投信がもうかるという情報はほとんどないですね

サッチェル：

ないですね。知らなかったです

メンバー：

銀行に売られて損するという話は山ほどありますけど

サッチェル：

言われたとおりに買うと損するっていう話はよく

北野会長：

それは正しい。その情報は一番大事なの。あれね、銀行は投資会社から一番売れないものあるやろ？在庫・・在庫をみんな各銀行、こうやっておるわけや。銀行には売ってくれと。「4分出すから。4%」

サッチェル：

そういうことなんですか

北野会長：

「あんたんとこの銀行には3分、出すから・・3.2出すからさ」こういうことで販売するわけよ。もうかるやつは誰が持っているいうたら金持ち、金持ちは、もうかるやつをもらうわけ

北野会長：

売り出しやるけど、1円も庶民に回ってこないの。そういうやつは

メンバー：

投信は本当にもうからないというイメージでしたけどね・・もうからないですよ？普通ね

北野会長：

本当に絶対にもうからんよ。下から順番に買っとるやつは全部、庶民やから。銀行のお姉さんがね、支店長から言われとる

真田 孔明：

会長、次、何を飲みますか。地ビールですか？

北野会長：

あと何でもいいわ。アルコールさえ、入っていれば

サッチェル：

ワインとかもありますよ。会長

北野会長：

ワインもいいの

メンバー：

やっぱり銀行が売るのは買っちゃいけないってことですな

サッチェル：

そういうことなのですね

北野会長：

銀行はパーセンテージだけもらっている

メンバー：

あ～

メンバー：

銀行だけもうかる仕組み

北野会長：

あれにまた女の子に朝礼、言い訳を教えとるんやよ。「お客様、投資っちゃ、長い目で見ないと毎月とか言って、短期間に上がるものじゃありません。」長い目で見ないと投資やから言うて、おじいちゃん、おばあちゃんから、金をもらっとるやて

真田 孔明：

下がったら自己リスクを語るという

メンバー：

今度は乗換ですね

北野会長：

あと支店長あたりのやってるのは、融資先で融資を1億つけるからいうてね。決算書のいいところがバ～ンと融資して、それでけつから10番目ほどがばっと売り込みする。あげたお金を即、回収する。利息だけちっちらちっちら取るわけよ。これは当たり前。世の中の常識。金もうけというのはみんなそういう仕組みになってとるやぞ。あんたらだけがまともなことを考えてさ、俺は清く、正しく、美しくいうて。きのう言ったやん。清く、正しく、美しく、世のため、人のため。最後は自分のためになっとることを考えなきゃさ。全部だまされゲーム。投信なんてね、五千何百あるやと・・・投信が。もうかっとるのは10%もねえんやから。そうやる？俺はだからあれは小学生のゲームやっていうのはそういうところ。情報さえ持ったら、あんなもんね、あほみたい。情報さえ持っていれば。だから、世の中っちゃ、みんなそういう具合にできているの

メンバー：

はい

北野会長：

絶対にもうからないシステムを押しつけてくるのは企業や。まして銀行の人はお医者さんよりももっとリスクが少ないんや。紙のリスクとペーパーのリスクやから。彼らがおっているのは・・・皆さん、パーセンテージ。いかにおばあちゃんから預かったお金を若い人に貸して、間違いない、間違いない・・・ある担保を全部とってさ、先生、またそこだけ深刻な顔をして見とっ

でもあかんよ。弱い者からとるといいよ、それ。その考え方が一番大事。きのう、何か先生をちょっとね、尊敬するように言ったけど。だから、弱いやつからとれない、強いやつには負ける。喧嘩でも全て最後の1発が全てを決める。そうやろ？最後に死ぬ思いの1発が大体、人生の最後になるんや。人生っていうのはそれぐらい過酷なものやいうことやて。金もうけも一緒。だから、俺はきのうも仕入れることを知ったら、売ることを常に頭の中に入れておかんと絶対に負ける・・絶対に負ける。家へ帰ったら、愛しているよ。きょうもきれいだよ。あとは「はい」と「です」言うたら絶対に問題ない。家庭はうまくいくんやから。ここだけを、これだけでもお前らはできんやろがよ？この簡単なことを。「はい」と「です」だけやぞ。それ以外を言うからトラブルになるんやから

サッチェル：

確かにそうですね

北野会長：

「はい」と「です」を言って、あとはきょうもきれいだよ、愛しとる、これでどうしてお前、かみさんが怒る？そうやろ。あとは、なるべく金を使わんようにちらちらと金を見せておけばいい。そういうことが大事。でもね、言っとることは簡単だけど、これを実行するったらまた難しいんやて。すぐ反発してさ、「ばかやろ！お前！」とか言うて、言ったらだめやよ。そうでしょ、言うたら「はい」みたいなことを言ってさ。目をつぶって大きな声ではいを言う練習。鏡を見て笑う練習とかさ、女の子を見たらかわいらしいねとかさ。きれいだねとかさ。わけわからんでも、愛しているよとかさ

北野会長：

みんな、飲み放題やから命がけでいかないと！

メンバー：

笑

メンバー：

ここで行かないから株が買えない

北野会長：

同じことなんやて。だから・・

メンバー：

こういうところで遠慮するから、1円を取りに行けない

北野会長：

ちょっと、言っただよ。そういうことを

サッチェル：

ロットが増えたら1回で10万とか20万を稼ぐ人はもういっぱいいる。普通、持ち続けるじゃないですか。安いときに買って持ち続けるじゃないですか。それはいかんと・・・未練を残すな金残せ

北野会長：

すごい。覚えた！

サッチェル：

サチりましたまた、あしたから進めますから

北野会長：

未練残すな金残せて？

メンバー：

1円でも上がったらね

北野会長：

1円でええんやから

サッチェル：

そうですね。ロットが大きければ・・・

北野会長：

1円でいいって毎日、願うんや・・・俺もいう。1円でいいからって・・・これ、たまに20円上がったり、5円上がったりするもので、こんなにたくさんお金をもらって・・・と。これだけでいいがやて。あのね、0の日がほとんどないと

サッチェル：

きのうのお話でもうすごくわかったし

北野会長：

それを書いてあったからびっくりしてさ。孔明、眠ったように聞いてたけど

サッチェル：

そういうのをまず僕らは5銘柄ぐらいから始めたほうがいいんじゃないかと・・・練習で・・・会長はiPadで・・・

北野会長：

俺はね、本当に失礼やけど42年間、株をやってっけど、40銘柄ほとんど同じぐらい。俺は大体、余り浮気をせんもん。嫁に言いたい。俺は株も女も浮気しないと！

サッチェル：

自分の気に入った子だけを銘柄に入れなさいって

北野会長：

あるのは本気だけやから。こういう具合に攻めると逃げやすい。逃げやすい・・・わかった？

メンバー：

そのときが銘柄ほぼ同じ？

北野会長：

全部、同じ・・・ほとんど同じものを同じセットしたまま

メンバー：

40年間

北野会長：

40年、見ているとね、すごいわかりやすいから

メンバー：

あ～

真田 孔明：

奥さんのようにわかる 笑

北野会長：

お前、嫁はん、ちょっとでもお前、眉間にちょっとでもぴくっと動いたらそれが見えるんやから

メンバー：

笑

サッチェル：

継続しているからですね？

北野会長：

そうそう

メンバー：

今日は、髪型が・・・セットがいいねとか

北野会長：

すごいいいことを言う。あれね・・・

サッチェル：

ずっと見続けることが大事だよということですね？

北野会長：

美容院に行ったら、必ず言わんならん言葉があるが。きょうは髪型違うね。いいね。お前ね、全然、税金かからんやて・・・ここには。本当よ・・・この小さなね、美容院と爪にペンキを塗った、を足のペンキを見逃すようになったら株で何て絶対に勝てん

真田 孔明：

つながっているのか

北野会長：

本当よ！髪を染めてきたのもわからんやつは株の上がった、下がったどうやって・・・関係ない。本当よ！隣の奥さんにでも、お前、それぐらいパツと言えるような男にならなきゃ

メンバー：

隣って・・・

北野会長：

また、そこでちゃちゃを入れる。俺は誰を見ても・・・

メンバー：

お前しか見ていないよと言いつつ、隣の奥さんも、きょうもきれいだと 笑

サッチェル：

なるほど

北野会長：

これをさりと、さりとと言わんと。さりと・・・きのうも言った

メンバー：

さりと1円、上がっていたら売ると。下がっていたら買うと

北野会長：

そう、たったそれだけでええんやて。俺なんか、ゴルフをやらない日は、もう1日中それをするから。20日からね、7,000万ほどやったね。もうかった金がやよ。俺にしたらそんなに別に多いとか少ないとかじゃなくて。ボランティアゲームやから。7,000円ぐらいからと思っとるだけ。だから、優雅に遊べる。優雅に・・

メンバー：

優雅に遊べますね

北野会長：

でも、好きな言葉は節約やから・・笑 嫌いな言葉がちなみに「特別」やってきのう言うたやる？

サッチェル：

その話、詳しくお聞きしたいです

北野会長：

昔ね、やっぱり今みたいに株が上がってさ。バブっとった日やった・・バブルの手前。株が1日に2,000円、上がるんやから。ダウがやよ？お前、200円上がったって「今みんな、くわ、上がったの」いうて。昔はね、2,000円・・あれから25年ほどや・・地獄の底。これぐらいおった友達も一瞬のうちに亡くなるよ。みんな、調子に乗ってさ、株はやるはマンションはつくるは、外車は買って乗り回すは、みんな、全部、半分は自殺や

サッチェル：

特別のことをやるとそういうことになっちゃうんですね

メンバー：

自殺ですか

北野会長：

自殺・・あのね、やっぱりまともや・・脳が。だから、やっぱり責任ちやあるやて。銀行だけ飛ばしたら何も問題ないが。あんたらちもよう考え。銀行の一件、何億を飛ばしたって何も問題ないねえ。ところが商売ちゃ、取引業者がおるわ。こうやって。みんな、顔を知ってさ、1回は酒を飲んだり、1回は話をしたり、いろんな人間関係があるわけよ。それが心臓にくるが。不整脈が出る。脳がおかしくなる。みんな一緒や。そんなね、そんな強い人間はおらん。人間はみんなヤワイ・・弱ってしまうとね、人間ほどヤワイ人間はおらんよ・・そう思わん？だから、お医者さんや、失礼やけど、弁護士さんはよく勉強して頭が切れるがやて。こういう人がね、ちょっと弱みにはまったらもう終わり。何でか。頭のいい人はやんちゃできん。わしらみたいね、もともと学力が低くて、ラッタッタ男ちゃ、長生きできるやて。何でか言うたら、「ま、昔からそう、後ろから何番だよ」こういうよ、概念がそこにもう固定化されとっから

真田 孔明：

ビジネスのスタートも10万円からスタートだった 笑

北野会長：

それも結婚式の祝儀を集めて残ったやつの・・・公認会計士、司法書士さんのところに行って

メンバー：

会社

北野会長：

そう。49年に俺、言ったの「先生、会社をつくりたいんやけど」言うて。資本金いくらにしますか？いうて。そんなもん、100万ほどにしといて。そのときに銀行に振り込んでも会社はできたから。印鑑を持って行って、あんた印鑑証明って・・・印鑑証明どうやってつくることも知らなかった。だから、やっぱりそういうところからきているから、頭のいい人はね、土壇場に追い詰められたときに弱い。一番簡単に言うとムショに入ったときに弱い。刑務所に入ってね、こういう真面目な人がガサ入れられてパクられたら・・・もう絶対。そういう生活を知らないから、絶対にやばいよ・・・心が。「おい悪人、どこに行ったよ？きょうは奥の・・・おった。こういうのはね、なんだかんだ言うてね、ちびちび引っ張ってしぶといから、こういうのは大丈夫。本当にそうやよ、要は土壇場でさ、体がそれでも要は、しのがれるかよ、しのがれるやつが残る。きのうも言ったけど、いいことをした、自分の本を書くやつは悪いことをしたことを1行も書いていないやろ？あんなもんね、悪いこともしとるやよ、一代で企業がこうなったとかさ、そんなもん、理論的に先生あるの？計算上、数字上でさ

メンバー：

ないでしょ

北野会長：

ないよ。そうやろ？

真田 孔明：

何かもし質問とかあれば、どんどん。不動産のことでも、全部大丈夫ですから

北野会長：

不動産をやってハワイに住んで、俺やったらネットで・・・今、家の私のうちの婿はんね。7月からハワイに入る・・・孫と。とりあえず俺はハワイの不動産の免許をとらせて、孔明さんのところへちょっと弟子入りさせて、サッチェルか。ネットで販売するね。ジョホールバルのあのシステムをやるか、それが一つ。もう一つは、ちょうどね、ハワイだとね、午後2時から相場が始まるんやて・・・日本の相場は。向うから眺めた相場はいかがなもんかなと。その婿はんは俺よりちょっと相場がきついんやちゃね

真田 孔明：

きついとはどういう意味ですか？

北野会長：

強い

真田 孔明：

強い、相場に

北野会長：

でも、目指すところがちょっと違っとるから。ちょっと俺よりも速度が速ええ

真田 孔明：

1日で回すんですんですよね

北野会長：

そうじゃなくて銘柄が違う。俺はほう、昔人間やから、昔の株をぼっかけとるんやて。ところが敵は何をぼっかけとるかいったら、自分の世代・・・まだ39か40、あんたらちと同世代やから。だから、やっぱり銘柄が違う。孫はだからきのう言ったようにゲームとか・・・全然違うの、各人によって。うちの場合は12月15日プリントアウトやから。企業は決算月で、決算月でプリントアウトしてもらうの。いや簡単やて、赤やったらやめてくれ言うて。黒やったらよかったなと

メンバー：

婿はんは会長の審査があったのですか？

北野会長：

関係ない、2人が婿はんやから、うち。2人娘の2人婿はん。ほとんど、どういうの？皆さんと同じ関係な。みんなも40そこそこやな・・・そんなもんやて。だから全然、婿いう感じじゃなくて、ゲーム相手？ゲーム相手や

真田 孔明：

どっちが株、勝つかみたいな

北野会長：

そうそう。「パパ何を買ったんですか」「俺はこんなもんだよ」って言って・・・自分は、カメラとか何とかが好きやからどうのこうの言うて、全然、銘柄が違うんやて。最後の誰が勝つかいうところで大体、年末になると大体、僕が最優秀選手

メンバー：

さすが！

北野会長：

年末年始はその会議があるのですか？誰が一番、勝ったか？ 笑

北野会長：

全部プリントアウト

メンバー：

おお～

サッチェル：

成績のですか？

北野会長：

2014年の1月1日から12月15日までの結果やで

真田 孔明：

サマリーを

北野会長：

ものすごい簡単なゲームさ。それではおもしろくないもので、最近孫に贈与したで金を貸してゲームをさしとる。そうすると全然違ったまた恐らくデータベースが出てくるんでないかと・・・でも、そこでも俺は勝ち続けたいと思っている

真田 孔明：

だから敵って言っているんですね？ 笑

北野会長：

そう、だから敵やて。そこで銭は俺のものだけど・・・と思うとそれはゲームにならん。だから、その中でも俺は常に1番でいたいよと。会社の資産とかさ、まあ関係ない。俺はただゲームに勝ちたいだけや

サッチェル：

なるほど、なるほど

真田 孔明：

ちなみにお子様とか孫にやらせる、未成年の人にやる場合は楽天の銀行で口座をつくってSBI証券、もう1個は郵便貯金でつくってマネックス証券、ここのところができますよね。銀行口

座をつくれるところとあれが違うのですよ。楽天銀行は子供がつくれるんですけどSBI銀行はつukれないのですよ。SBIは。あっちは

メンバー：

あ～

メンバー：

楽天銀行で楽天証券じゃだめなんですか？

真田 孔明：

だめ。楽天証券が子供は開設できなくて、楽天銀行は子供は開設できるのですよ。SIB証券が子供が投資できる。ここ、ちょっと違うのですよ

北野会長：

調べたの？

真田 孔明：

はい、ゴールドのメンバーが・・・

サツチェル：

たすき掛けにしないといけないってということですね？

真田 孔明：

きょう話を聞いて・・・教えてくれて。今ちょうどやらせようとしていたって・・・

真田 孔明：

ニコチンなんか、あそこにね、何か小屋がありましたよ

メンバー：

ニコチン小屋

真田 孔明：

厳しいですね

メンバー：

だめだって

サツチェル：

外なのに

北野会長：

たばこはやめよう。体に悪い

メンバー：

笑

北野会長：

一番、吸っているのは俺か 笑 こういうことはよくあるんがやて。例えば日本からドバイ経由でさ、この間バルセロナに行っとったわけやろ？ずっと禁煙やったよ。だから、たばこも愛きょう。人生も愛きょうやと思えばさ

真田 孔明：

船の中はたばこを吸うところはあるのですか？

北野会長：

だめだめだめ

真田 孔明：

え？豪華客船

北野会長：

吸うたら全部ぱんと外にほおるな・・・

メンバー：

笑

北野会長：

飛ばないときあるから、1回水にぬらしてから

メンバー：

喫煙コーナーはないのですか？巨大な船で・・・

北野会長：

何個かあったけど。じゃあさ1回外に出て、エレベーターに乗って・・・

真田 孔明：

10階とかあるんですね？

北野会長：

15階ぐらい・・・

メンバー：

え～ 15階もあるんですか？

北野会長：

そんな無駄なね、ことを・・・ピョ～ンと・・・引っかかった？みたいなもんでさ 笑

真田 孔明：

風で戻ってきて 笑

北野会長：

でも、東京もこうやってみたら本当にきれいやし、たばこを吸って歩いているやついないもんね？

真田 孔明：

もういないですね、今の時代ね

北野会長：

だから、本当に自分でね、きょう寝がら思った。やっぱ俺は人間・・・半端者やなと。やっぱり東南アジアか、あっくらでないとだめやね 笑 ハワイで出て吸って、警察に叱られとるからね。6メートルね・・・

メンバー：

吸っちゃいけないんですか？

北野会長：

そう、6メートル前で、たばこを吸って・・・ここはオープンです言ってもだめ、すごいよね？今は？たばこを吸っとるやつと金もうけとるやつは全部、死刑や、そのうちに。笑 マイナンバー制になってさ、たばこを吸いますか？酒を飲みますか？金を持っていますかってさ？あんなもん、全部把握されるわけやから

メンバー：

マイナンバー一気に普及しますか？

北野会長：

普及する。内閣全体は全部とることにだけ集中しとる・・・わかる？金さえとれば国家というのは安全なの

真田 孔明：

持っている悪いことをすると

北野会長：

金を持たせるとろくなことをせんもんや、人間ちゃ。だから、一生懸命、取り上げる政策をいっぱいつくっとるわけや。ただ、それだけよ。経済が悪くなったら困るから、どんどん印刷する。一つ変わっているのはアメリカを超える金持ちをより金持ちにする。これだけね。今の日本でこれがすごい。金を持つとるやつがどんどん金をもうけさせて要はアメリカは5%やけど・・金持ちがね。日本は1%にしたいと。わかる。日本は1%。だから、皆さんは今まで金を返しとったやろ？金を返しとるようなばかな人間はもう国が相手にせんわけよ・・そう思わん？金を返しとるなんて、まともな頭しか持っていないいう証明やから。俺を見てみら。金を返さんから今まで・・。ここがね、皆さんが絶対にわからん、まだ、ひっくり返した裏側なん。でも、あんたらちね、どれだけ手の表がどっちや言うても、なかなかわからんがね。きのう、孔明さんが初めて、動かない株がもうかういうのがわかった。それだけ一生懸命しゃべってやぞ、初めて次の日に書いてくれた。今回こそ、わかったん？

真田 孔明：

わかりました、今回はわかりました

メンバー：

100人に1人しか理解できないっていうことですよ

北野会長：

そうやろ？

メンバー：

それを理解できたら100人に1人になれる。世間の常識とはもう全然、逆

真田 孔明：

真逆ですよ

サッチェル：

やっとわかった、売るというのがわかりました。その感覚が・・

北野会長：

本当

サッチェル：

やってみようと思って

サッチェル：

簡単なことや・・皆さんは10円、上がったらか、1割、上がったら株を売るなんてばかなことを言うとりやつがほとんどやろ？#紙にもそうやって書いてあるのね・・あれを見たら。だ

から、この例えばジムロジャースとかさ。何かこうすごい人がいっぱいおるやん。これは全然、違うんやよ。彼らはどうやって金をもうけたかいうたら、その会社がドボンと、ドボンになった時期があったが。例えば最近ではね、アメリカバンク、ついこの間まで、つい3年か4年前まであれば2.5ドルやったの。日本円で200円。僕は金持ちやからたくさん買ったけど・・買ったけど、今15ドルほどん。

メンバー：

わ～

北野会長：

しかも、200円で買ったのが1,800円

真田 孔明：

ドル円で・・円ドルでね。さらに勝った

メンバー：

為替ですね

北野会長：

こういうことが起きるわけや、世の中。でも、みんなには嫌な話やけど、ほとんどが情報なんやて・・これ。俺、だから前にも言ったけど、JALね。日本航空を情報は潰れないっていうから、潰れないっていうからさらっとでも9,000万、さらっと。「ばかやろう、お前、えんこ指とったるかい」そんな感じやぞ。あの9,000万ね、一瞬にして飛んでみる。お前・・ホンマに。そのナイフも凶器やぞ。「ばかやろ、お前、なめとんのか」笑 こんな感じやて。人間って怖いものやぞ。

わしらみたいに気遣いは特にね

メンバー：

情報

北野会長：

そう、だから情報が一番や。金なんてな、借りたら返さんたら、先生みたい、そのうち、いやん、しまししょうみたいなことを言うとなれば・・引っ張れる。先生の弾はこれぐらい引っ張る、伸びる。「どうしても返せなくなったら働くから」こうマロ様が強いわけよ。孔明、見てみれ。あそこマロ様やろが？ 笑 だから、言葉に余裕がある・・マロ様の仕業や。「昔、僕、ボールを蹴っていたんだから」

メンバー：

笑

北野会長：

本当やて。何だかこういうこと知らんやろ？これはマロ様のがやて。マロ様は騙すことがうまい・・もともと。きょうは白ワインがいい。みんな、白ワインを飲んだほうがいいよ

メンバー：

いただきます！

北野会長：

お前ら、命がけで飲まんと

真田 孔明：

時間が限られてます

北野会長：

これ、うまいよね？本当に

サツチェル：

おっしゃるとおりです

北野会長：

先生は学校で俺は昔から、お前、優等生やからなんてね。枕を高くして寝とる暇なんてね、全部、後ろから・・「ご苦労さんでしただよ」これがシャバヤから

メンバー：

わかる気がする

北野会長：

そうやろ

メンバー：

そうです

北野会長：

みんなそうやよ。世の中は、みんなそうやから。枕を高くして寝とる暇なんてないんやから。昔から言うて、やくざ者の親分が一番、殺された場所は乳くりあっとった場所やっていうぐらいやから。だから、人間ちゃそういうところに一番隙間が現れる。だから、甘い顔をしとったら全部、後ろから刺される・・本当にそうやよ。だまされるときも、だますやつのプロはだまされた瞬間が見えないちゅうんやから・・本当。プロはみんなそんなん

真田 孔明：

本当にそうですね

北野会長：

そうやる？あんたから説明したってほしいこともあるけれども・・・本当にそう。プロのだまし屋、プロのすり、みんな一緒。プロっていうのはみんなそれが仕事やから・・・さらっと。殺し屋でも一緒。絶対ね、前からゴルゴ13のあれは映画だけや。前からぴしんと当たっとるのは、ほとんど後ろからどんやから

真田 孔明：

眠っているときに

北野会長：

そうそう、多いんやて、世の中に一番多いのはそれやて。だから真実は誰も語らないっていうのはそういうことや

サッチェル：

確かに

北野会長：

あんたのところは2回目の500万、500万、500万、最初に買ったときはかなり高いところで買ったんでしょ？

メンバー：

ええ～

北野会長：

今集計で右側の上はプラス？

メンバー：

これはプラス

北野会長：

4,000万、買ってどれぐらいになる？

メンバー：

100万ちょっとぐらいですかね？まだ、1月半弱ぐらいなので・・・分配金が出るタイミングどうのこうのとかあると思うのです

北野会長：

あれも、3,000万円で3分程だよ、今の収益は。それがふえてきたら1回ね、清算しておいてもいいが。金の相場の中にあるときは金じゃなえ。流動性資産みたいなもんやから。だから、どこかで確定して、ポケットの中へやっぱり入れておいたほうがいい・・・入れておいたほうが。そのときに乗り換える株のために、5種類ぐらい言ってあるだけやから。最初の女は気持ちよかったと。こういうことを言いたいわけよ

メンバー：

ああ～なるほどなるほど

北野会長：

そういうことも、売ってすぐ同じ株を買ったらあかんよ・・・投信でも。そういう目に遭った人も俺は多いと思うんやて。例えば、プラスが300万っておたったけど、1月になったら100万円になって、そのうち赤になったとかさ。あるんやて・・・統計は。だから、俺、皆さんに言いたいのはきのうから大きな声で言っているのは、必ず売るということを覚えておかなきゃ。最初の始まり、最後の終わりまでずっとしていたら、ただの紙やから。ティッシュペーパーより、もっと怖い紙しかないんやから。それだけはもう脳に刻んでおいてもらわないと、どんないい話でもさ、例えばものすごいいいものを持っていたも、売らなきゃ1円にもならんよ？これ1杯が100万円なんやと。あなたがさ、俺、1,000万で買うと。言ったやろ？それ隣に2,000万円で。服屋の人3,000万で買う。売らなきゃさ・・・わかるやろ？このなんぼ上がってみたって同じやいうことやね

メンバー：

言っているだけ

北野会長：

言っとるだけよ。乞食のおかゆ、中身がねえんやから。これ実態経済っていうのはこう中身があって飲めるから実態経済。ここをよくね、理解していない人が多い。あんたらち理解しとったかもしれんけれども。俺の友達でバブルのときに借金して買って、会社も潰れないもんで、あのまま1回も売ったことないんやって言う人がおるがて。「今もうかっているのかい？」「いや～今もう、真っ赤か、赤字ですよ」すごい人やね？その金利と借金をずっと払っとるんやと。そういうね、立派な人もおる

メンバー：

笑

北野会長：

世の中はだからやっぱり幅が広いちゅうもんかさ、ずっと借金返ししていますわ言うて・・・すごい人やな。でも、配当金はちゃんと入ってきていますから、家内と配当金の出たときは一緒

に食事に行くんだと。それが楽しみでねって。もしもしとは言われんから、あ、そうですか、
いいお話ですねと・・・本当にびっくりするよ

メンバー：

投信もゆくゆくは出し入れを・・・

北野会長：

だから、もう4銘柄か5銘柄言ったわけやる？

真田 孔明：

きのうで5銘柄ですね

北野会長：

そうやる？まだMC言ったけど、誰か売り買いした人いるの、あれ？M。やった？

サッチェル：

でも、持ちすぎちゃいました・・・それがきのうわかったんです

北野会長：

なんてしつこいタイプや、上がっていく売れないいうタイプ

サッチェル：

今、大分、戻っていますよね。4,070円とか

北野会長：

あれね、いくらで買ったか知らないけど、こういうことなんやて。例えば4,000円でさ、3600
円~3700円になるやる？

サッチェル：

なりました,なりました。500円とか・・・

北野会長：

そしたらどうということになる？あつ1個しか買っとらんいうことか・・・

サッチェル：

4,000円でかっちゃたんです

北野会長：

4,000円で買ったと

サツチェル：

そのあとすぐ下がっていっちゃって・・・ずっと戻っていて、4,000円より上にいったときに売っちゃったんですよ

北野会長：

だから、カンチャンにはさむ・・・きのう教えた。4,000円なら3,600円になると3,600円でわかるやろ？これ4,000円、3,600円やから、カンチャンにはさむやて・・・1発

サツチェル：

ここでやらないといけないってことですよね？

北野会長：

そうそう。それで、3,600円上がっていった半分ぐらいきたらこっちの玉を売るわけよ。どこかここら辺まで上がって

サツチェル：

これを詰めていくってことですか

北野会長：

そう、それでまただらだらとさがったと。また、だらだらと今度、買付ていく

サツチェル：

ここで買えばいい、あ〜なるほど

北野会長：

そうすると高値が、高で右手で押さえているから、下値はわかりやすいわけよ。でも、どっかの手の使い方が似ていない？ 笑 こういうことなの、こういうことを・・・

サツチェル：

これと差をなくしていけばいいんじゃないかと

北野会長：

そうそう、そういうことがわかると結構つかみやすい、つかみ

メンバー：

確かに。上がわかっていますよね？上と下が

真田 孔明：

1回、失敗したとしても・・・ここで

北野会長：

そう、だから、俺は楽なゲームやと思うとる。俺の論理からするとやよ？楽な。Mなんていうのは俺は本当にね、皆さんにはきのうM・・・あれよ、高いから・・・高いから。それでも、ほとんどね、4,100円ぐらいまで高値

サツチェル：

いきましたね。

北野会長：

3,500円ほどが下値やる？売りを行ったり来たりしとる。俺、この行ったり来たりしとるのがものすごい好きなんやて、ゲームの中で。ETFのほうやから、売買も安い。だから、あれを下がったな言うたら、カンチャンにつかんどる

サツチェル：

なるほど。わかりました、わかりました

真田 孔明：

そういう売買していないね、ちゃんとね。ずっと見ちゃうね

サツチェル：

見ちゃったんですよ

北野会長：

だめやて

サツチェル：

見ちゃうんですよ

それがきのうやとわかって

北野会長：

見つめたらお前、恥ずかしいだけやないかい 笑

サツチェル：

見つめちゃいました

真田 孔明：

見つめているだけでは・・・で、一喜一憂してる

メンバー：

どうしても見つめちゃいますよね

真田 孔明：

見つめちゃいますね

メンバー：

なるほど

北野会長：

そんなね、皆さん、みんな携帯電話を持ってさ、情報伝達がこんなに早い時代やから、必ず1日に1回ぐらい朝9時、本当は一番いいのは朝9時の仕事始めのときに、ぱっと見て。あんなの見るのは1秒やぞ？

真田 孔明：

銘柄も決まっているし

北野会長：

そう。だから、例えば5銘柄、10銘柄、あんなもんぱっと見れば赤なのか、白なのか一気にわかるんやからね

真田 孔明：

ちなみに赤だったときってどうされているのですか？ぱっと見て・・

北野会長：

マイナスのとき？マイナスのときに買った値段より安かったら、買おうかなと思っとる

真田 孔明：

もう1回？

北野会長：

しつこいタイプやから

メンバー：

負けは認めないと！

北野会長：

そう。いつもね

メンバー：

仕込むと！

北野会長：

その、つっぱりで・・

真田 孔明：

仕込めないで待ちやいますよね？そこでね・・

メンバー：

そうそう

北野会長：

金は自分のさ、信用買いでなかったら、キャッシュやったらさ、別に自分の金が遊んどるだけなんやて・・俺から言う。だから「ま、ええわ」と・・もう10万株下がったところで。ひどいときは本当にね、恥ずかしい話やけど90万、100万株ぐらいまで持った株なんていっぱいあるがやから、俺の場合

メンバー：

ということは10回ぐらいナンピンしているってことですね？

北野会長：

そう、きのうあんたらちには、だいぶホラを吹いたけど、ホラは吹いたが・・でも、本当はね、223円ぐらいから、Tを150円までナンピン買いしとるんやから・・10万株ずつ。一番安いのは百五十何円さ。一番高いのは二百二十いくらのがある。それ船に乗って降りたら、700円ほどやった

メンバー：

うわ～

北野会長：

たったそれだけ、たったそれだけ。でも、これぐらい意地は張るがやて・・相場にはね。結構、意地は張るところあるがや。もう一つはね、自分に自信を持っとるやて。もう、俺は金持ちやから。よし、もう10万株、ナンピンするわ。これぐらい勢いがあるさ、戦う気持ちがなかったら人にも相場にも証券にも勝てん。この突っ張りがないとね？体の張りみたいなもんや

メンバー：

Tだけで、数億円、軽く利益が出ちゃった感じですか？

北野会長：

それは俺の人生にしたら当たり前や

真田 孔明：

すごい！

メンバー：

ちょっと見たら最低、5億ぐらい・・・

メンバー：

地中海クルーズに行った間に5億ですか？

真田 孔明：

そのチャンスは誰かにもあったわけですよね？会長はずっとT、Tとか口に出ていますからね・・・これね。会長がおっしゃったやつね、全部、上がっていますよね？結局。言ったタイミングでやっていると

北野会長：

皆さんはだから、俺が一生涯懸命ね、酒を飲みながら、みんな思うとるって。あのばか、きょうも酔っぱらって・・・真ん中において1人で酔っとるなんて

サッチェル：

それはないですよ

北野会長：

俺、この間もさ、「会長、Nはあしたから見ておきます！」みたいなことを・・・すごいやつ現れたなと喜んどった。きのう聞いたら買っていないと・・・あれ聞いて何かがっくりきてさ。そういうこと多いや？でも、よく考えたらみんな相場には手を染めとらんわけやからいいんやけど

サッチェル：

やっとわかったんです、ここ、やり方が・・・

北野会長：

すごいことを言うよね・・・やっとわかった。どうしようもない話

サッチェル：

会長いけますね・・・これ

北野会長：

このね、こんなことを100冊、相場の株の本を読んでも書いていない・・・書いてないやん。こんなね、ばかなことを書く人もいない。いろんな人が、いろんな文章を書いっとけど、お医者さんでも、失礼やけど何十人か何百人、殺した人が最後に何か発見するが？文章を書くわけよ。

失敗した分は全部削除。成功したところのこの5行ほどを文章に書くわけよ。自分はこれぐらい苦労した。これぐらい苦労して技術を得たと・・・こう書くわけよ。そこしか書かんからさ、こっちは全部、削除されとっから。どの本を読んでもあんなもん何もならんわけよ。俺、だからきのうから本の話をしとるやけど、俺は本はほとんど読んだことがない、読んだことねえ。昔そうやって教えられとるから。お前、本を買って読むなら俺のところへ献金せと・・・献金せとね、そうはっきり・・・それもまた、あやふやなことだからわからんのやけど、みんなそんな感じや。でも、この簡単な話をすれば、株もあしたからしやすくなると思う

メンバー：

本当にそうです

北野会長：

もし、自分が買った株がどんどん下がったときには孔明さんのところにメールを入れてよ。俺買うから。俺はね、そういう人間のが。昔ね、株を始めたとき、全然わからんでさ。友達がね、バブルに・・・バブルのときやよ。5,600円から始めた株が39,800円まで上がったね・・・俺の人生の中で。それでさ、友達が言うわけよ。「俺この間、株買って下がったやて、どんどん下がった」って言うがやて。俺、そんな話を聞いてさ、あまのじゃくやから俺、買おうかなと思って買ったやて。結構上がる確率が多いのね

メンバー：

へ～

北野会長：

普通さ、6.6倍になった株、その相場の中でさ、下がる株なんていうのはなかなかね・・・わからんもんやて。でも、その下がった株を買うと必ず上がったんだよ。そういういい思い出があるわけ。だから、例えばソニーが首を切った。シャープも首を切った。でも、ソニーは未来があって首を切っとる。シャープには未来がないかもしれない。あれで銀行が手を引いたら、銀行はどれくらい損よ・・・本当に。あんなもんね、また生かしておいてもどうしようもないが。もともと、もう2回目やもんね？もともとドボンになって、銀行融資をつけて液晶がよくて、液晶テレビを出してよかって、今度またドボンやる？結局、経営者っていうのかさ、考え方がやはり伝統的でねえ。それから見たら、三井住友銀行、見てみられ。Nさんの代から先生が言うとおりの。弱い者から取ると。これしか強くなれんが。あのね、喧嘩でもね、みんな男やから喧嘩したことあったろ？喧嘩でもね、互角のやつと喧嘩すりゃね、「行って来い」互角やから。喧嘩は弱いやつとするべきなの。これね、強いやつと喧嘩しても勝てんのやから。絶対に覚えておかれや。喧嘩は絶対にね、強いやつとしたらだめ。まして金の取り合いだけはね、強いやつとはしないこと。会社全部でもとられるから。会社っていうのはね、51対49で回ってるゲームや

メンバー：

株主総会で、決議をする時、過半数より多い方が勝つ

北野会長：

過半数いう。過半数ちゃ、51対49やね。この方程式を頭の中に入っとらんやつは絶対に経済では負けるが。喧嘩するよりも簡単に負けるがやから。これはだからゲームで負けると同じやから、絶対に身に着けておかんとこれ。だから、本当はこれぐらいのメンバーが錢100億ほどずつ持つようになったら中国の会社でも好きな会社が全部、自分の会社やよ。我々ね、道楽会が・・

メンバー：

道楽会 笑

北野会長：

そうなるがやて。あんなもん経営権は、そこの人が経営しとらんよ、株券さえ持っとれば・・だから、今、言った51%をとってしまえば全部ファミリーの会社や。そんなね労働するなんてね、ちっちゃい考え方を持っとってもあかんよ。労働は人に・・わかった？これがやっぱり最高のおもしろさやろ。これほどね、おもしろいゲームはねえやから。上海も終わったし今度シンガポールのあの会社、一つ資本金が小さいからとおこうか？みたいなもんがやて。「お前、シンガポールにいるやろ？たまに会社、見ておけ」これでうまくいくようになってみられよ・・そうやろ？こういう話がまさしく事業や。自分でね、両手を動かしてね、働いとるうちは大したことない。3番目のここを使わんと。左と右とどっちに・・どっち左か右がわからんけど 笑 左脳と右脳を働かせて錢もうけにつなげる・・これが錢もうけやよ

メンバー：

普通に数億、株でもうかる？

北野会長：

そう簡単や。ただね、株でもうけるためには必要なものは自己資金なのですよ。自己資金とあとは、きょう無職2人いないけど・・あの無職が。あの無職は絶対に伸びるよ。あの無職2人はね、もう見えたから、俺の言うところ。あれ何で見えるか言うとな、無職は暇やろ？頭の中がねフロッピーディスク空や。だから言うたことがずっと入ってくるがやて。次の日仕事ないやろ？だからすぐあ、そうか、こんな簡単なこと、俺わからんだ。だから、気がついて最近おらんやん

メンバー：

もう、今ごろやっているわけだ・・海外市場で。こんな話を聞いとれないと

北野会長：

そう。何ちゅうやったっけ。あのラーメン屋？あれなんか、香港にラーメン屋をつくったら・・作らなかった？

真田 孔明：

今ね、ラーメン屋をつくっていますよね。ただ彼は働いていますよ。華僑の人たちと一緒に

北野会長：

あれもだから、もう見えたんや。自分は、1人工やと、他人を使うて何人夫やと、こうわかってしまえばこんなもん。会社の経営もそうよ？彼、どこかでそんなことを俺、言うたよ。いうたとき2回目やったかな？「自分は何か会長の言うとおりの何か店舗をこうやってつくってあげばうまくいくんですね」っていうから、お前、そんなもん、店をいっぱいつくって店長を1人ずつ任せておけば、お前、こうやってやっとなんよりよ・

真田 孔明：

自分で振っているよりも、これで麺を・

北野会長：

そう、それよりも人にやらせたほうが上手いやつは一杯あるんやて・世の中ちゃ

真田 孔明：

それをやっていますよね、人に任せて

北野会長：

だから、そうやって言うた。だから・

真田 孔明：

お金は華僑からもってきて自分がつくって、収益シェアだけもらうっていう

北野会長：

銭だけとっとればいい。銭だけとる人のことを俺みたいに「銭取るマン」いう。銭をとる男やから「銭取るマン」。そうやって言われたこともあったんやけど。何せ、銭をとる人間が「銭取るマン」なんやて。銭をとれん人間は「銭取るマン」じゃねえやから

メンバー：

「銭取るマン」になりたいです

北野会長：

だから、今、四〜五千万弾があるんなら、新しい会社を不動産屋でも何でもいいちゃ。新しい例えば株式会社をつくって銭を借りると。あんたなら1.1ぐらいでは十分、弾は出るがやね。めいいっぱい借りたら1%で。あとは、今の投信を買えば10%か15%、あんたのところは15%から20%ぐらいで回るとね。本当はこのまま運がよく、この今の相場ですっと続けば、あんた利回りは40%・なるよ。それが買った値段と配当金の計算をすればそんなもんはすぐに出る

メンバー：

4,000万の40%だから1,600万、不労所得！

メンバー：

いいですね

北野会長：

それが普通なんや

メンバー：

それを普通と言ってくれる方に今まで出会えなかったです

北野会長：

本当？

真田 孔明：

いんちきばっかで 笑

サッチェル：

基準価格がばんばん下がっている場合というのはどこかで損切りしちゃったほうがいいですか？
損切りというか

北野会長：

違うの。金持ちは喧嘩せずや・・・そういうこと。下がったときにどれだけ耐えられるかが金持ちなんやて。それで上がったときに未練を残さんことが金持ち・・・わかった？きのう、お前、これで10回ぐらい言ったやん。未練残すな金残せって。お前ら、どうしてこの・・・

真田 孔明：

下がったときはだからナンピンで買い増ししていくのですよね？

北野会長：

それが最高や。このゲームの強いところは、俺のゲームの強さっちゃ、例えば下がったところの話よ。例えば1,000円で買ったと。900円になった。次に800円になった。でも、絶対にそういうばかなことはもともとこれは2,000円の株やから。ここ業績もそんなに悪くないのにおかしいなと思ったら空売りのね、そこからまた株の空売りとか出てくるがやて。そういうところでナンピン買いを順繰りにして行ってね。100万株たまつたと。このまま10年かなと。この下りにぐっと、どういうの？つらいときに踏ん張るこのパワーやな。これがあると強いんやて。経済には強いんやて。ところが、このどこか途中で心が折れるとどばっと売らんとならん。そのときに損だけが出る。だから、さっきのMでも例えば4,000円を買って、3,500円になったときに買わんと見ると・・・4,000円を超えたら今度もっと上がるんでないかなとさ

サッチェル：

買っちゃう

メンバー：

やられてる

北野会長：

ばかの象徴っていうのはこういうことを言う。だから、株っていうのは覚えておいて。上がったときは買いやすいやん

真田 孔明：

確かに買いやすい

メンバー：

気持ち的にそうですね

北野会長：

上がったらね、株っちゃ買いやすいんやて。下がったら買いにくいやねん・・わかる？ たったこれだけの目の錯覚なんやちゃ。目の錯覚。あれは目の錯覚。よう覚えておいて。上がったら売る、下がったら買う。例えば4,000円で買ったとしたら3,500円になったら、たらふく買うておきゃ全財産ぶち込んで。4,100円になったらサッチェル、お前、慌てて、4,100円？ あしたもっと上がるって言うて買うわけよ。ほとんどの人がね、それでお前の頭は正常。これ正常なんよ。この考え方が一番正常。これ世の中の一番正常や。きのうも言ったけど、バブルが起きる前の値段が、がたんと下がる前のときが一番、一般個人が買いつけしとる。銀行に・・証券会社に言われて買っとる人もおるけれども、ほとんどが自己売買が多い、あんたと一緒。4,000円で買った、きょう4,100だったと。あした、4,200円やと思って4,100円で買うんやて。なぜか買いやすいんや

真田 孔明：

買いやすいですね

北野会長：

この人間の心理こそ。だから、私はきのうも手の表と裏とどっちがラッスンゴレライがわからんやろ？ 言うて皆さんに言うのはそこ。どこが高いのか低いのかわからない・・本当に。本当にね、みんなそうなるがよ。常にどこか入れ墨を入れて書いておかんとみんな忘れるな。上がったら買う。下がったら売るいう。これになっていく。これをたった逆にするだけでいいんやよ？ 逆にするだけ。だから、1円上がったら売る。これだけは脳に入れておくっていうね、インプットしてしまえばヤフーファイナンスはプラスになったら全部売ると

メンバー：

全部ですね

北野会長：

そう。だから、1円でもいいが。そんなね、2円とかいうてそういうね、せこいことを言うなって。3円上がったとしてもボタンを押すだけなんやから。この気持ちがあれば絶対に勝てる。これね、気遣いはなんでかこういうね、気遣いみたいなことをするがやて。これがね、普通の人間の正しい心理。これ正しい心理。人間はね、常にそうやって惑わされる。皆さんが理解したらんから株にも強くなれんが

メンバー：

だまされ続けて人生

北野会長：

だから、絶対、この怪獣には背かんことなんやて。だから、顔を見たらそうでしょ言うて、そうですと。真面目な顔で「はい」と「です」を繰り返せば、怪獣と勝負をせんでもいいことをさっきから言うてるわけよ

サッチェル：

勝てない勝負はするなということですね

北野会長：

わかった？これは絶対に勝てんがやから

真田 孔明：

勝てないですね。絶対に

北野会長：

この自然体の言葉をはけない。まだ、だからレベルが俺から言うとこれが普通のレベル。みんなだからまだ下におるわけよ。もうお前、5回か6回あったやろ？俺はきのうも誰か、誰か言うのかなと思ってこう見とるんやけど、誰も言わないの。これね、大体ね、頭センチンピーやから。言っても覚えないわけよ。先生ね。心臓が悪いわけじゃないから。脳がおかしいの。脳が恐らくね、フロッピーが回らないのか。ディスクがなぜ回っていない。女の人を見たらまずきれいですねとかさ、結婚を前提にとか、いっぱい教えとるやん。きょうまでに。誰も単語を使わないところや

メンバー：

二言目でも結婚を前提に。きれいですね。結婚を前提に

北野会長：

まず、きょうもかわいいですねとかさ。結婚を前提にとかさ。言うて怒る人はいないよ。俺なんかきょう、コーヒーを飲みに行ったおばあさんじゃない、おばちゃん、80弱の。俺言ったもん。あ、きれいですね。「何を言って・・・」言うとするがちゃ。腰がこれぐらい曲がっとるんやで。いいね、コーヒー最高やね。コーヒー1杯飲むまでにしゃべったけど、そういう人からのほうがいい情報をまた聞ける。なめたらあかんよ。古きをたずね、新しきを知る。文学の説明ちゃそこにあるがやから。お前、孔明、ほうとか言って今までわかつたらんかったのか

メンバー：

存在感を示さんと

北野会長：

ばばあ、死ねとか言うのダメやよ。それは絶対にダメ。このね、物の考え方が人間は貧乏にするがやから。だから、若い人を見たら少年よ、ボーイズビーアンビシャス。老人を見たら慈しむと。女を見たらすぐに言わなきゃ。きれいですね。結婚を前提に、とりあえずおつき合いしましょ。株も経済もエンジンにはエンジンオイルが入っとる。あれはだから、ピストンを回すためにオイルが入っとるんやよ。ガソリンとは全く無縁の世界だから・・・と同じことなんやて。経済は回すっちゃ、言葉が大事。これをさらっと言えたりできればね、例えば2人でさ、その前にお嬢さんがいっぱいおるんだから。高齢のお嬢さんやけど

真田 孔明：

高齢のお嬢さん

北野会長：

高齢のお嬢さん。いや、きれいですねと。1人に声をかけて「きょう、どこか後で食事できますか？」と。コーヒー飲めますか言うて聞ける度胸はないやろ？わしら、これぐらいは当たり前やから

メンバー：

当たり前 おお～

メンバー：

確かにきれいな遅れがいっぱいいますね

真田 孔明：

ひどいこと言ってる

北野会長：

だから、そういうね、きれいな行き遅れとか・・・

サッチェル：

東京の女性は美しいっておっしゃったじゃないですか？

メンバー：

ひじょうに

サッチェル：

いますよ。いっぱい

メンバー：

いるね～

北野会長：

でもね、本当にね、真実からみんな声をかければ、誰も腹を立てんよ

サッチェル：

そうですね、確かに

北野会長：

とりあえず握手だけでもお願いできません？

サッチェル：

こういうふうにやればいいんですね？こうやって・・・

北野会長：

そうそう、ありがとうございますと。普通の人にはあ、私の手にとるやろ？

サッチェル：

あれはすごいですよね

北野会長：

これが大事なこと。これぐらいは当たり前になるようになってください。とりあえず、株の勉強よりも女の握手して自分の手をなめる練習からしてください 笑

メンバー：

それはあれですよ。朝、起きたら株の売買を開いて、きれいやね、赤と緑で 笑

北野会長：

それぐらいがええ

メンバー：

綺麗な、押して。赤い子、きょうもきれいやねと

北野会長：

そういう感覚で相場ができるようになった、相場が楽。それと、あしたの朝から始まる相場は下がり相場か上がり相場か……。一番、ネット上に多いのはあしたから相場は下がるやるところ書いてあるんやけど、俺は人生と反対やから、なぜか上がっていくような気がする、きょう、みんなね、社説こうやってみたら、みんな10日間連ちゃんに上がってさ、ちょっと今これくらい下がった。あしたからドボンやると。何かそうならんような気がする。基本は何か言うと、全然、基本的な物の考え方はないんやけど、やっぱり俺は日本の経済から見たらきのうも言ったけど、やっぱり120円よりも200円になったほうが外人は来やすいし、今ここで1回さ、またね、100円、80円までもし万が一、落としたらオリンピックまでそう上がらんだとしたら、誰も来んよ、こんなところへ。ということになればやっぱりゆうちょのお金やら、年金のGDIPとかさ、ゆうちょのお金、それから日本の印刷した金っていうのはやっぱり……。そこに向かって海外の投資家も、経済としてね、日本しか伸びる国は今のところないやると。と俺は思うんやけど。でもね、俺が知っている2,000円ずつ上がった日とさ、最近、上がった言うても2~30円や。30円や。何か漫才師のね、パンダみたいな話と一緒に。なんぼ進んだいうて、これだけしか進んどらん。だから、これでとめたって何も日本の国はプラスにならんよ。だから、やっぱりもっと相場を上げて、為替を安くして、我々、日本経済の中にいるからほとんど関係ないやて。円は円で使っとるわけやから。だから、俺は強気張りちゅうもんかさ。でも、本当のね、ドカンはね、ドカン。株で一番もうからんのはドカンなのよ、ドカンちゃんなかなかこないやん

北野会長：

俺の相場観はそういうの

真田 孔明：

創門の力ですから 笑

北野会長：

俺が何とかの門とか。何か書いていなかった？俺の……

真田 孔明：

未来予想ができる

北野会長：

俺？

真田 孔明：

はい。でもその通りですよ、生まれながらの

北野会長：

あれってどうやって書いてあるの？何か、よう・・

真田 孔明：

陽創門

北野会長：

陽創門。陽創やて

真田 孔明：

生まれながらの・・その通りです

サッチェル：

投資信託のほうも一緒ですか？投資信託、1万円からスタートして今、半分ぐらいまで来ているのかな。あれも当たったときにもう償却しちゃったほうがいいのですか？売却しちゃったほうが？

北野会長：

そうやよ。あのね・・

サッチェル：

このまま行くと下がっていくのですか？投資信託って・・

北野会長：

きのう言ったやつは今、五千何百円。ところが配当金は210円やろ？利回りにしたら、今買ったもっとれば42~3%に利回りするんやと。ところがさ、投資信託で50円を500円？ちょっと待てよ

サッチェル：

5,000円

北野会長：

5,000円

サッチェル：

今5,000円ぐらいです

北野会長：

を割るという投資信託はいい投資信託がないんやと。だから、要は大体ほとんど5,000円前後でブレーキがかかるとるんやと。そしたら、きのう言った、何とかかんじゃらは、きょうの利回りで42~3%あるはず、何パーセントか言うて

メンバー：

僕の計算だと50%近くになっちゃったんですけど

北野会長：

そうやる？50%近くあるんやて。だから、今聞いたやる？だから、俺が去年、50何%あったのは、そういうところよ。だから、下がったときに買っておけば、配当金は同じなんやよ？今の株の50%利回りあるわけよ。お前みたいにすっきりと頂上で買ったらさ、利回りは薄うなるがやて

サッチェル：

去年、出たGの通貨セレクトっていうやつが、今、下がってきている。あれは？

北野会長：

だから一緒。下がったら買うことが大事・・・わかった？今のことは簡単なことを言うてるんやけど、絶対にできんがね、人間が

サッチェル：

5,000円近くなってきちゃったんですけど

北野会長：

5,000円近くになったら、俺にしたら全財産を投資しておくやね

サッチェル：

投資信託の場合はどうですか？

北野会長：

一緒や、そんなもん

メンバー：

きのうのやつも全力投球している？

北野会長：

あれも今50%ほどあるがやから

メンバー：

注文、少し入れてきました

北野会長：

それでいいが。聞いて即実行

メンバー：

ちょっとですけど

北野会長：

いやいや、そういうことや。金もうけというのは本当にね、この・・きのうも何回もこう手をたたいたやん？こうやって。肌の触れ合いやから

サッチェル：

基準価格が下がるっていうことはそうですね。利回りが上がるっていいことですよ？配当金の・・

北野会長：

すごいね、サッチェル。きょう、飲んどらん分だけ計算が早いな。そう。基準価格が下がるいうことは配当金は同じ金額やったらよ。利回りが上がるが。それでなかったら俺がさ、去年52%とれたとか言うわけねえやろが

サッチェル：

その売却のタイミングは会長はどんな感じなのですか？投資信託

北野会長：

孔明、書いておいてよ。俺、言ったやろが・・最初に。この人に、俺は最初に話したときに言うた。俺が買う日は教えられるけど、売る日は教えられないよと。俺、昔ね、これもあんに言うたことあったが。皆さんに言うことあったがや。俺の知り合いにね。ところが世の中ちゃさ、2,000円上がる日、あした普通は上がりと思っとるわな。また、次の日、1,000円上がってみれ。お前、株が100円上がる。1万株持ったら100万ずつ嵩がふえていくわけや。これはね、上がっても恨むよ・・恨み。素人にしたらね恨み

真田 孔明：

そうですね。もっと上がったのに！

北野会長：

だから、俺はあれから絶対に売る日だけは言うたらあかんなど。下がる日もはっきりわからんけど、売る日は絶対に言うたらあかん。恨みを買う。これは1万株のレースで100万や。1,000万株やったら1,000万ずつ違うやて。だから、でかいゲームや。ラスベガスのおじさんらちに

したら1億のゲームやから。俺がさ、「おじさん、きょう売ったほうがいいんじゃないの」ってぱんと売ってさ。「少年、1億、違ったんじゃないか」って言われたらアウトやて。飛び込みせんならんよ。あの金はもちろんセット6,800円朝食食べてあそこへ行く。だから、あそこの考え方が違う。朝食をとりについて11時半まで飯を食って遊んどるんやから。昼食、食べるのやから。11時半まで食事をしとっから、ラスベガスに行ったらね、昼食の時間が・・・覚えておかれ。朝の朝食に行くやろ？11時半までホテルで食事しとるやて・・・セットが6,800円。おじさんは毎日行っとる。昼飯を食わんが。朝飯をめいいっぱい食っとるやろ？昼飯が入るわけがない。もう30分したら昼や。労働してねえんやから、もう腹ぱんぱん。ゆっくり昼寝してから夕食は7時ごろ。腹減るまで待っとるタイプやろ？腹が減らなかったら部屋の・・・部屋っちゅうのかさ、家の周りを散歩するね。あとは、夕方魚釣りに行って帰ってくるとかさ。ちょっとゴルフをハーフだけやってくる。みんなそんな。金持ちの1日ってものすごい優雅や。働く気がねえんやから。最近、俺はね、皆さんと話したら労働意欲がかなり湧いてきとる

メンバー：

笑

北野会長：

皆さんのようにね、何か労働したくなかったな。今まで金持ちおじいさんが周りでそうやったから、これが当たり前かなと思って、最近は何かiPadを押せないほど忙しい皆さんのそんな思いもやっぱりいいんでないかな？という感情が出てきた。俺はだから、人生は失礼やけど買ったタイミング、あんた、この間ジョホールバルで何か、買う言っとった。あのタイミングが恐らく・・・恐らくことしの最大限のタイミングや。俺の勘では

メンバー：

3月末から4月

北野会長：

あれが最高のタイミング。あれはだから運がいいが。あれは運だけの。金ね、回ってきたときと買う時期とは例えば、あんたは3月やった。あれは1,000万ずつ買っておきゃ、あんたも配当金をもらった上に300万ぐらいまたもうかっとなる。利回りで。あとはだから300万で手仕舞いを1回するか、1,000万円になるまで待つだけのがやて・・・配当金は受け取っとる。また100万ぐらい、500万の大金がふえとると思う。そういうことなんやて。解説すりゃ簡単なの。俺なんかね、ずっと人生それで生きとるタイプやから。これ簡単なゲームやけど、ほとんど80%の運と10%の勘と、もう10%の努力。運が先・・・運が80%、勘が10%、努力も10%

真田 孔明：

まさにほとんどの命運が決まっていると。8割ぐらい

北野会長：

だからやっぱりあんたが言うとするのは合うとるかもしれない。俺はだからいつもそう思っとる。運が80%

真田 孔明：

見るとね、年が当たったちゃうので、それってイコール、決まっているということじゃないですか。きのうもね、当たりますよね？うそじゃないですよ？あれね

メンバー：

うそじゃないです。全然うそじゃないです

真田 孔明：

年が当たっちゃうのですよ

北野会長：

俺、だからジョホールバルで孔明、お前、あした話に来いっていうたら本人の誕生日やて。俺恐ろしかったね、あの日ね。9.11で殺されるんでないかなと 笑 そう思ったぐらい、俺どきっとした。父親が俺と生年月日が一緒や言うて

真田 孔明：

一緒なんですよ。年は1年違いですけどね。月と日が

メンバー：

25年のお生まれなのですか？

北野会長：

26年。だから、怖いというのは孔明の話を聞いてさ、あれ聞いたら何かどきっと・・・

真田 孔明：

数字のごろ合わせ怖いですよ？

北野会長：

やっぱりこの人は危険やよ。危険な人と早く別れてよ。若者は危険やろ。おじさんらちはもう死に、死にやから、もうおじさん、金をいっぱい持っとるわの。おじさん金をいっぱい持っとるよ。うちのおじさん、ほんまに金を持っと。みんな1,000億は持っとるからね。弾だけで1,000億やから。世の中ちゃ、やっぱりね、広いようで狭いようで。普通の経営者は朝から自分の車を持ってさ、ネクタイを締めて仕事に行くやろ？おじさんらち朝、8時半から9時ごろ朝食をとりに来るだけやもんね。11時半にラストになったらただサインしていくだけ。わっけのわからんサインやけど、何かちゃんと書いてあるがやて・・・夜も酒を飲まんしね

メンバー：

飲まないんですか？

北野会長：

飲まない。もうね、みんな行動パターンが一緒。朝は例えばどういうの？シャブリのおいしいやつがある言うたら、グラスにシャブリ・・・いいねみたいなこと言う。夜は酒を飲まなくて早寝早起き 笑

真田 孔明：

長生きしちゃう 笑

北野会長：

小学生なんよ。あのしぶといあの考え方。ちゃんと金持ちの・・・金持ちはね、そういう、きちんとした生活をしとる

メンバー：

死ないようにできてる

北野会長：

死ないように・・・本当に。ロボコップみたいな。笑 本当に。本当にね、えげつないもんかさ、生活パターンがきちんとしとる。無理むだをしない、覚えておいて。俺、おじさんに聞いたや。無理、無駄、ムラは世の中の一番悪い最大だと。無理、無駄、ムラは一番よくないことやと。まだいっぱい聞いたんやけど、おじさんに会えばまた思い出すけど、そうやって言うたの。無理、無駄、ムラは一番よくない。少年も無理、無駄、ムラせんと。64歳の少年やからね。こっちはシャバ中回って伝言・・・ハトみたいなもんやちゃね。ハトわかる？ハト。伝書鳩のようやて。おじさんのところにこうやって行くと、俺も義理が人にあるもんで。伝書鳩をやっとるんけど。やっぱりどういうのかな。金持ちはやはりね、金持ちになった素質がある・・・素質。何かね、あやふややちゅうもんかさ、はっきりせんところもあるけど、金についてはやっぱりシビア。昼、食事に行くより朝、ゆっくりと職くしとったほうが体にいいがやて。だから11時半になったらレストランを出れば11時半から昼のお客さんが入ってくる。昼のお客さんちゃ、ほとんど貧乏人が入っている。本当の金持ちは朝の一番おいしいフルーツを食べて、朝を迎えるのが金持ち。何か本当なうそのようなね

メンバー：

笑

北野会長：

金持ちがゆえに言えることやよ・・・そうやる？会社に行ってねえんやからそうやる？朝食をただレストランへとりにきとるだけ・・・本当に。すごい。ハワイ島におるおじさんらちもみんなね、いや、ゴルフは自分の持ち物やから、ホテルも勝手に遊んでいってくれ、ただそれだけ。

少年に拘束するものはない。これ喜んでいいのか、馬鹿にされとるのかということではっきりはわからん。マオイに行ってもそんなおじさんおるんて・・・生意気なおじさんがいっぱいおるがやて。何かわけのわからんね、ハワイ、真ん中でやよ。うちのマンションの前のおじさん、マッカランが60万円、ワインが何百万円って言うとりんやから。ああいうね、横柄な人っていうのは世の中、まだいっぱいおる。でも、みんな老人には変わらない

真田 孔明：

みんな70、80ぐらいなのですか？

北野会長：

75すぎやね、みんな。金はみんな持っとるわ。みんなで何千億、持っとるんや

メンバー：

それはどうやってつくられたのですか？株がやはり多いのですか？

真田 孔明：

悪いことをしている 笑

北野会長：

悪いことに決まっとる

真田 孔明：

稼いだら逃げる。逃げた先がアメリカだっただけ 笑

北野会長：

そう。本当。韓国に逃げた日本人、上海に逃げた、北京、あれ全部ね・・・つかんだらみんな逃げとる。パン言うて。だから持っとるんやて

メンバー：

あ～

北野会長：

本当にそんなやて、だから、それはね、絶対に俺にでも絶対に教えない・・・恥ずかしいんや。だから言えない、絶対に言えない

真田 孔明：

本にも書けない

北野会長：

本にも書けない。それぐらいやっぱりみんな、でかい金を残した人は・・・俺は正当にしておじさんらちに対等できる若者の一人でないかなと思うとる・・・俺はね。俺は正当な投信とかさ、株をしてブラックのおじさんに勝ちたいなと思ったんやけど、俺が勝った時分はみんなもうね。飛んでイスタンブールでさ、死ぬような時間やから。でも勝ってみたいなと思う。俺の野望はね。銭金はいくらでもいいんや・・・本当は。あんなものは幻みたいなお金やから。でも、1回自分の手でバンとつかんでみたいなという気がする。でもねシャバで金を残した人、頭10番ほとんど投資家やから・・・そう思わん？また、ウォーレンバフェット。もう1人、誰やたっけ？ソロスカ・・・あの下にもあんだ、あれは丁半をやった人がきつかったわけよ。一般の企業経営者であんなもん、載っとるのいないやろ？そうやろ？いないんやて。だから経済は株券の紙から生まれとるんや。今は紙もないけど。だから投信に勝るおもしろいゲームは俺はないのではないかなと・・・自分ではそう思うとる。今は情報をたくさん集めてやね、勝負したら結構いいんでないかなと・・・と思うとるだけ。でも、俺はブラックのおじさんにはいっぺん示しをつけてと思うとるがやけどな

メンバー：

笑

北野会長：

俺は必ず聞くが。キャッシュでいくら持っとる？株券と現金と預金やちゃね。「おじさん、いくらあるの」って言ったら、おじさんたちへっちゃまで、「日本円にしたら2,000億じゃ、今なら120~130億かの？1,200兆・・・1,200億、そんなもんやな」「え？1,200兆、1,200億どっちなんだ」言うたら

メンバー：

爆笑

「そうか、今、為替の、そうやの1,200億ほどかな」とかさ。「おじさん、大した金を持っていないね」とはなかなか言えない。俺、こんだけはったりがきくんやけど、やっぱりあの数字には勝てんがの・・・何とも勝てん。あのね、1,000兆、超えるいうたらね、やっぱり俺が1,000億持たんからのがやちゃ。俺は貧乏やから、そこに歯向かいできんが。俺もし1,000億、持って「おじさん、俺と一緒にやん」と言いたいところだけど、言葉が出てこんが 笑 ここまで言いたいんやけど、つかえてさ、気持ち悪くなって言えん

真田 孔明：

実際そこまでやると使えないお金だから本当はどっちでもいいんですよ

北野会長：

皆さん、みんなほとんど早死にせん限りは俺より長く生きるんやから。俺の夢やと思って1,000億にチャレンジしてほしいなと思うとるだけ。ほとんどの人はできんよ・・・ほとんどの人は。

俺さえできん。俺の場合はもう10年は生きられるから、10年でもう勝負をかけんと。俺の計算上は大丈夫なんや。計算上はもう100億、1,000億ぐらい一気に行けるぐらいのもう見えとる。背中は見えとるけど、まだ勝ちはとっとらんけどな。そういう人生にしたいなとただ思っとるだけ。使う気も何もないよ。使えん・・・体が弱なった。きのう言ったやろ？体が弱なった。金ほどね使うのに労力、体力がいる商売はない。毎日おいしいものを10回食べても食べられんやろ？あそこのでかい腹をしとる人でも、せいぜい4回？

メンバー：

じゃ、まだまだ勝負

北野会長：

だから、あとはやっぱりいかに人間、ダイエットしてさ、戦う力ね、腕力、握力や・・・これがなかったらやっぱりゲームに勝てんが

メンバー：

はい

北野会長：

あのね、きょうはセクション1の話。あんたらち、セクション1がまだわからんから、銀行の取り扱い方とかいうことが話できんのやて。こういう人たちに銀行の扱い方なんてね、言っても絶対にお前らね、扱うことはできん・・・できない。せいぜいとっても2,000万ほどや・・・せいぜいとっても。そんなもんね、2,000万ぐらいとっても大した爪のあかみみたいなもん。たいした我が身にならん・・・本当やよ。借金ね、俺の一応、目標は1兆円なの。1兆円を借りて投信で回して、金利は2%ほど払う。20%で2%・・・18%もうかる。俺は金持ちに決まっとる、返さんのやから。これが俺の生涯の目的や。返さんというこのシステム。ただ、金利はどんどん払う。返さないから金利はどんどん安くなるがやて。

北野会長：

金っていうのは返さんやつが一番強いだよ。銀行はね、俺を飛ばすということは絶対にできんが。何でって銀行が貸した債権や。あれは手形を切ったり、返済期限を書いてあるから返済する義務があるんや。あれ日付を6カ月、飛ばしておけばいい。銀行は1年、飛ばしてくれ言うて嫌よ、6カ月おきに印紙と利息をくださいというのが銀行。6カ月飛ばしておく。いやいや、飛ばしておくんじゃなくて6カ月後に返済しますいう手形を出すやん。あれは赤い判子さえついておけば6カ月、飛ぶが。それでここが大事やて。この6カ月たったところで、その1カ月ぐらい前から銀行が来る。そこで、「うん、もう6カ月分も先払い、金利を引いておいて」軽く言う・・・軽くね。金がないいう素振りをしたらもうだめ 先払いしとっから。利息は先払いしとっから

メンバー：

手貸、手形貸付

北野会長：

そう。手形貸付

メンバー：

短期でずっと回していくっていいことですか？

北野会長：

そうそう

メンバー：

そういう戦略ですか

北野会長：

あのね、借りるときは返す言うの。借りたときは必ず俺は返す言うの。いつも、返す、きちんと返すから。でも、すぐに返すいうたらしんどいから「支店長、6カ月、飛ばしておいてくれ」。手形貸付しておいて。わかるやる？

メンバー：

わかります。

北野会長：

この最初の6カ月を

メンバー：

1発で返すっていう約束だけど、それがずっと続いていくっていうだけですよ？

北野会長：

だから6カ月たったら1回、ここで区切りをつけますよと・・・こう言うとするが。ここまで来たら金もないし、もう6カ月、借り換えしましょうよ。でも俺はお金、余っているから銭取るマンやから利息については先払いしますよと

メンバー：

利息だけ払ってまた半年、延ばして

北野会長：

これでね、2回、引っ張ると、1回、2回でちょうど1年過ぎる。これからがゲームのおもしろい始まりなんやて。このゲームはどうやってつくるかいうと、支店長にとくとくと説得せんなんやて。1発させてくれみたいような話やじゃ。支店長ね、俺はきちんと利息を払った、1年ね。これからはずっと定額の利息を払いたいと思っとると。ついては6カ月、6カ月にしておい

てくれと。今まで通りに・・・そうやる？利息は永遠にあがる。支店長ね。元本は返済したら減っていくでしょ？

真田 孔明：

向うも営業成績が減っていくのですよね。元本ベースですからね。きょうも銀行マンが来ていましたけどね。ゴールドで・・・

メンバー：

元本ベース。金利ベースですか？

真田 孔明：

元本ベース

真田 孔明：

いくら売上、貸したか、貸し付けたか？

北野会長：

そうすると、俺みたいにね、返さなくて利息を払う人がものすごい優遇される。俺もね、昔ね、ずっと返さなかった日があって、銀行から結構ね、恨まれとる日があったやて。俺はそのときに、本当はその銀行に返す金はちゃんと本当は持ったの。それを積み立てておいたの。銀行には返さんが。でも積み立て預金はほかの銀行にしてあるがやて。金が同額になったときに支店長に言うがやて「お前、こら、なめとるがかい。お前の借金、きょう全部返したるや」突き返した。ここが勝負や。ここに勝負をかれんと、金はガサッと入ってこんの。この1億を見せて、100億をとるがや・・・これがゲームやて・・・これがゲーム。俺、これだけ利息分は持つとるから、支店長、お前、細かい金なんかやるよ。この一言が言えたらきつい、利息でこれだけ払う、払える力があるがやから。これ聞いた？今の言葉聞いた？どれだけの元本がいる？銀行はどれだけの元本？俺から1%を1億とるために彼は100億を貸さないと行って来いにならんということや

メンバー：

はい

北野会長：

これがさらっと言うたら、これをさらっと言えれば「金、1億しかこれあんたにあげっから、金を持って来い」と。うちコンマ6・・・1%でもいいが。1%でも100億の金ないぞ、お前。「印紙代、入れたってそんなもんポケットマネーを出せるんやから・・・」この一言が言えたらものすごいきつい。あとは、絶対に返さないこと。これが定番のがや。これね、皆さんは違うんやて。あのね、皆さんに言っとると。俺がやんちゃしとる人間やから言っとると思うやろ？あんたら、四季報見て全企業を見てみられ？借金のない企業なんてねえやから。トヨタでさえ、最近、17兆、トヨタは違うよ。トヨタは17兆借金して25兆債権を持つとるが。あれは安倍さ

んから言われて25兆の債権を買っとるだけ。その債権を買うために17兆円、借金した。17兆円の借金は銀行から全部、国のお金になっていっとるだけのことや。それが経済。それが2%経済を維持しようとするアベノミクスの正体

北野会長：

これっていうのはだから、単語っていうのは簡単な言葉やけど、結構そうやって難しい言葉はいっぱいあるわけよ。だから皆さんも金を借りたら継続。昔から継続は力なり。継続することが力。愛も本当はあやふややけど、愛の一念は岩をも通す・・岩。あの固い岩でさえ、割ることができる、それぐらいの信念が大事やよと。この返さない信念・・わかった？返さない信念。これがね、人間を育てる。今の残っとる日本の企業は全部あれ、はっきり言うたら金・・わかるやろ？あれは金を返さなかった企業が残っとる

真田 孔明：

ばか正直に返しちった人はみんな潰れている

北野会長：

あれね、やんちゃした会社だけが残っとる。あれ一切返しとらんがよ。一切返していない。あんたら、俺が株を始めた時分に、日本の経済界で一番最初にトップに立ったのはカネボウ化粧品のカネボウ・・繊維と。今なくなって資生堂に吸収、とられたんやけど、あれはもともと繊維と化粧品。繊維が当たって化粧品になった。でも、そんなもんや。時代ちゃそんなもんや。いい時代も自分の一代・・覚えておかれ。二代、三代、続けるときは頭が必要。それと、あんたらちがもし成功して残ったなら、やんちゃしてきたんやから、やんちゃを教えておくべき。格好のいいことを教えてもだめ。子と孫にはやんちゃを教えなきゃ、子と孫は育たん。清く、正しく、美しい話ばかりしとったってね、そんなもんセドの柿木。家の後ろは、家ちゃ、東か南を向いとる。家ちゃ。人間、家を建てたらほとんどの人は南向きに建てたい。後ろに柿木を植える、柿木を。柿木は北向きのが。陽が当たらんが。だから、セドの柿木。何もならんが。要は実がならんちゅうことや。だから、セドの柿木にならんように物を考えなきゃ。だから、柿木を植えるときには家の前に植えなきゃ。家の後ろに植えたらセドの柿木、何もならんよ。こういうことを言いたいわけや。こういうのはね、本当は文学とか小説に一杯書いてあるわけや。俺はさ、先輩のおじいちゃんらちに聞いたことをみんなに言うのとるだけや。俺は本なんて1冊も読まんから。ただ人生を歩いて、おじさんらちに聞いたことをみんなに言うのとるだけ。自分で発明したことはねえけど。1回、発明することをね。でも、俺、孔明さんと初めて会ったときにね、1兆円でも100兆円でも、借金するやつが一番強い。あと無職、借金するやつと無職。これが一番きつついんや。世の昔からきつついんや。江戸の商人でいたやん。おぬしも悪いやつやなって言うたの誰だっけ

真田 孔明：

越後屋

北野会長：

越後屋。あれがやっぱり昔から一番強かったと。現代の越後屋みたいに

真田 孔明：

代官と越後屋

北野会長：

代官と越後屋。まあ経済はみんなそんなもんや。だから、まともに考えても絶対に勝てる方策はない。まともに考えよったら手の・・・お前ら手の表も裏もわからん人間が、どれだけ考えたって一緒や、そんなもん。運が8割。努力1割。勘が1割・・・そうやる？ほとんどは運が制しとるわけやから

真田 孔明：

命運が制している 笑

北野会長：

本当にそうやで。人間って本当にそう。俺は、ほとんど漢字、ほとんど英語もわからんけど、毎月海外に行って遊んどる・・・あやふやのがよ。でも、あやふやちゃすごい俺はね、あやふやにまさることはないと思っとる・・・俺自身がよ。俺自身はこのあやふやよりも強いやつはおらんなど。アメーバみたいなようなプリン体やねいかい・・・あやふやちゃ。どこでも形を変えられる。アニハンセヨ言ったりさ、こっちの隣に行ったらニーハオ言うて、これぐらい変わっていけるっていうのはね、頭がセンチピンでないかなとわしは思うとる。だから、いろんな言葉を使い分けたり、いろんな国へ見たり、来たほうがそこの国の経済がわかるんでないかなと思ったんやけど、思ったのは今月までで、あんたらち外国に行くよりも東京で修業したほうがいいんでないかなと。そんなね、こうやって見てハワイに行ってどこに行った、次、香港に行ったんだっけ？

真田 孔明：

香港、マレーシア、上海

北野会長：

上海。きょうここやる？お前ら、俺の言うたこと何か実行した者おるのかって言うたらほとんどおらんがやから。こんなね、自信のある答えないよ。俺はこんなに一生懸命しゃべった後にほとんどの人が実行していないというこの現実。最高やね。だから、来月のハワイをやめて、7月の初めに東京でやろうよ。今からじゃあ東京でやろう。みんな集まりやすいし、俺も物を言いやすいし

真田 孔明：

ハワイ予約しちゃいました

北野会長：

本当？じゃハワイでやろう

真田 孔明：

6月26、27日がハワイ

北野会長：

今度いいレストランをとっておくから

真田 孔明：

7月の末が東京ですよ

北野会長：

いいレストランをとっておくから。何でも知ってから。遊ぶことに関しては任しておいて。みんなストリートガールに捕まらないようにね。あれ警察官やから・・・全部

真田 孔明：

ハワイですね。ハワイ

北野会長：

ハワイはこれは全部、警察官が多いから

真田 孔明：

すごいですね。警察官がおとりでストリートガールをやっているんですから怖いですね

メンバー：

へ～

北野会長：

あれはガッチャやから。俺みたいには、日本語しか言えんで後ろについておっても逮捕できんのよね。あれはマイクを持っとるけど、俺わかったみたいなことを言うてもさ、あれは全然だめなんやて。あれは、本署に持って行ってもだめなが、要は裁判官が日本語を知らない・・・日本語の返答はもう無効いうて。ぱかっとやられても保釈・・・わかった、わかった言ったのはほかの話です。というて日本語でしか言えないんやから。有罪にできない者は全て無罪っていうのは世の中の常やから、そうやる？有罪にできない人っていうのは全部無罪になる。ここら辺までだと9割から上の言葉やから・・・ホンマに。いつか皆さんがこの俺が今、言った一言が使えるようになったら、それはプロになったいう証拠。紙一重、孔明、ワインなかった。

真田 孔明：

あります

北野会長：

済みませんね。俺、結構ね、酒嫌いのやけど

メンバー：

自分もいただいていいですか。ありがとうございます

北野会長：

原理、原則さえ知っとればあんたらちはもし・・もしやよ、俺がきのう言った1円の誤差を知っとれば、ものすごいきつついよ。孔明みたいにさ、300円で買った株を400円になろう、この待っとるばかさ加減がおかしい。これ1円ずつあったら永遠やから。1円マイナス、1円プラスは2円だから、これ永遠や

真田 孔明：

1日に何回も発生しますよね？

北野会長：

そうそう。だから、きのう言った。ラッスンゴレライ言うね、あれラッスンゴレライ、あれと一緒になんやて経済は。手の合わせ方の早さなんやて本当は。だから、あんたら仕事をしている場合、お前ね、ユニボを動かしてとってもね、ユニボはあんたよりもうまい人はいっぱいおるが。彼は、それががわかつとらん人。先生よりもね、診断がうまい医者はいっぱいおるが。そんなもんね、医療法人をつくって医者を雇ってやらしとったほうがいいが。今やったら福祉産業ね。そこら辺をハワイに行ったら、東のほうへ向かって谷間に有料老人ホームがあるがやね。28万ほどの。たくさん生活しとる。ハーレーに乗ったおじさんがまた有料老人ホームに入っとる。日本から見たら広いし、僕もハワイに行ったときにそれ、これいいなと思って日本でつくりました。やっぱりもうかる

真田 孔明：

ハワイで見て日本でつくったんですか。特養を

北野会長：

特養じゃなくて有料老人ホーム。簡単なん。金は銀行が出すが。自分の金を出してね、ものをするほどばかなことはない。金は銀行が出せばいい。わしら日本の未来や。自分でね、スコップを持って稼ぐのはひどい。借りたお金が一番簡単に使える・・人の金やから。責任のない金、簡単に使える。この借金が重くなるほど銀行は潰さんがね。日本で先生が生まれてからきょうまで潰れた会社いくつある？あれね、借金がでかいから借金でかいから、借金がでけえ、だから銀行は潰せんが。潰さんがね、潰せんが。でも、借金のでかい会社はずっと利息を払っとる。黒字や赤字やいうて騒いどるだけや。経営者はひどいもんやよ。あれ社長になった瞬間から売り上げを伸ばせ、利益を伸ばせって毎日言われる。あれほど貧乏な商売はない。ほとんどね、東大、慶応、早稲田、京大どこかそこら辺の社長連中が必死になって利息と元本を回したりや

りくりしとるだけ。彼らの給料なんて所詮は知れとる・・・雇われ社長やから。芸者が冠をかぶるとと同じ

真田 孔明：

芸者 笑

北野会長：

あれは雇われ経営者やから。あれは雇われ経営者なの。いい大学を出て、計算が早いから社長になっただけ。それだけなんやて。中卒の人が社長にするわけできんやろ？だから、なるべく頭のいい人を統計的に選んどる。それが今の日本の経済。日本の経済。昔、例えば考えてみれ。アメリカ大陸を発見した人はさ、そんなに清く正しく美しい人が発見するわけないやん。そうやって考えればわかるやろ？あんなもん、やんちゃ者にしか発見できん。ごり押ししてやんちゃできるやつが強い。そういう場合に経済を本に書いていない経済を見てくれたらきっと俺の話もわかるようになる・・・気がする。ほとんどはわかったらんやから。俺も本当にきょうで5回目やったっけ、6回目やったっけ？本当に何かホンマにきのうしゃべってさ、こんなにわかっていない人がこんなに多くいたというところがわからんだがね。本当にね、この簡単な言葉やけど、わからん人が多い。まずね、俺がさ、動くな、働くなって言うたらほとんどの人がお前、何か「え、あのおじさん、頭、狂っているんじゃない」と思うやろ？

メンバー：

笑

北野会長：

その次の言葉が知らないのね。動くな、働くな。頭を使えと。こう言いたいんやて。でも皆さんに言うときは動くな、働くな。そう言っておけばきっと頭を使うようになるんでないかなと思って言ったんやて。誰もね、それをせんとして、動くな、働くないうて、仕事をせん人もおらんと思うんやけど、仕事はしているんやけど、最後の1項目がわからんが。だから、きのうも皆さん、きっとわからんなと思って、わかったが俺が・・・わかったんやて、きのうわかったが。みんな株をやったらん言うて。俺、ハワイからずっと株をやれ、早く株をやれって、あんなだけ言うたのにやったのは誰やったっけ。おい、悪人、1人だけや

真田 孔明：

ぼろもうけしたのは

北野会長：

だからすごい・・・悪は。きのう言うたや、悪は世にはびこるが。あれ見てみ。こういう悪いやつは世にはびこっていく。これまたアメーバのように広がっていく。悪とはそんなもの。善はかなり悪には弱い。お前みたいに純情な目をしとるやつは女もだます、人もだます。これは銭取るマンやからいいがやて。これは許されるべき単語や。それが経済・・・皆さん、覚えておいて。経済ちゃそんなもんや。常に常に経済はそう。絶対ね、誤差が少ない。誤差が少ない。強

いやつは常に強くなって、弱いやつは永遠に弱くなる、この繰り返しや。金があったら早く投
信でも買って・・・

真田 孔明：

そういえば会長が前におっしゃっていたハワイのショッピングモールのテナントみたいなあれ
は何でしたっけ？ぽろっと一瞬だけ話が出ていたんですけど。チャットか何かで・・・

北野会長：

洋服のメーカーで何やったっけ？

サッチェル：

Aですか？

北野会長：

AとかF・・・ あれをあそこはバーゲンが早いんやて・・・バーゲンが早いんやて。12月に行っ
たら1月からもうバーゲンやから、バーゲン商品ちゃ、たたくと1割ぐらい、定価あるやろ？

メンバー：

定価の1割？

北野会長：

1割から安いものは1割・・・高いもので15%ぐらいで仕入れる。あれをハワイの会社から中国
の会社へ送るんやて・・・わかった？それで中国では定価が通用します。中国は馬鹿やから。あ
の人は馬鹿やから定価がドルで書いてあるとドルに魅力を感じるんやて。おばさんらちは特
に・・・女性もの、男性ものも自分が3着買ったら、お父さんに1着買うがやて・・・これが中国人。
あれ定価で買うなんていう国は中国しかないよ。日本のあの炊飯器でも値切らんで買うのは中
国人だけなんやから。日本のおばさんの場合は10%、20%どんどん交渉するのやから・・・こ
れが日本のおばさん。中国人はありがたいって買っていくがやから

真田 孔明：

確かに、僕ずっと中国で売っていたじゃないですか。日本のパッケージそのまま、日本の2
倍で売れるのですよ。中国人に・・・

北野会長：

そうやる？

真田 孔明：

2倍なんですよ値段。定価の1万円のやつが2万円で売れるのですよ・・・店頭で

北野会長：

わしらはただ、洋服を仕入れて洋服は軽いでしょ？飛行機で送っても安い。あっちで売れば、定価で売れるから僕の場合はぼったくり日本興業やから、ピンはね日本興業やから、90%もうかったらぱんと売った人には半分あげる。ジェントルマンやから、半分あげる

北野会長：

ハワイちゃね、いろんな情報が入ってくるから。いろんな情報が入ってくるが。だから、ハワイに会社を持っとればいいっていうのはそういうところ。でも、中東アジアはまだね、そんな甘ない、金もうけに。逆に言うと経済が発展していないからいいものがない。アメリカはさ、いいものをいくらでも仕入れることができる。あんなもの全部、中国とベトナムかどこかでつくくつとるんやから・・・わかる？あれを中出ししとってくれば・・・中出しね

メンバー：

中出し

北野会長：

中出しわかる？中に出すんじゃなくて、中で利益をとるやつね・・・これを中出し。売る先に利益をとってしまうが。これが一番固い鉄板焼きの商売。売る先に利益をとるがね、中間の法人で。仕入れと売りには差額があっても中で抜くと頭としっぽになるがやて。これが俺から言う一番もうかる商売。今、皆さんはできん、絶対にできん。死んでもできん。いつかこれを聞いて、きょう今いれば脳に残っとれば、いつかできるようになる

メンバー：

はい

北野会長：

ここはもう危ないことになったら弁護士の先生がおるから。でも人間ちゃさ、医者が一番もうかって弁護士は2番目にもうかる。弁護士が1番目か医者が2番目かはわらんぞ。でもね、一番きついやつは俺みたいにやんちゃが一番きついわけよ。この人らちは度胸がない。俺にあるのは度胸やから・・・わかる？この度胸。極道ちゃさ、度胸だけで生きとる。だから、でっかい絵を描いて、絵は完成せんかもしれんよ。でも、でっかい絵を描くところにおもしろみがある。きのうからこれをね、必死に言ったけど賛同者がいない、いつか俺が死んだら、きっと思い出してくれるんでないかな？坂本九みたいな世界やけど。でも、そうあってほしいなと思ってさ、俺は俺なりに必死にしゃべっとる

メンバー：

はい

北野会長：

でも、ゴールドのおじさん、ブラックのおじさんとゴールドの庶民との違いちゃさ、やっぱり60歳ぐらいから40の80、40歳ぐらいから全然違うね・・・全然違う。中に入っとる俺でさえわかる、これね、俺が例えば腹黒いおじさんに一言、言ったら10分は俺、しゃべる時間ないからね。「少年、そうじゃねえだろう。お前、違うよ。人生はこんなもんだ」言うがやから相手が。俺の場合は、きゃんという感じやで。おじさんは「お前、銭いくら持ってお前、そういうばかなことを言っているんだ！」「100億ぐらいなんですけど」って言うたら、じゃお前、俺に物を言う資格はねえんだよ

真田 孔明：

うわー

北野会長：

ほら吹いてお前、100億や。敵は真実を言うて何千億やから。何かつらいもんあるよ。俺もね、おじさんらちといっぱい聞いたことあるがやて。俺は経営者としてやぞ。資産を入れたことないと、今のキャッシュで勝負しとるんやて、おじさんは言うて、「君ともうしゃべるときはキャッシュだよ」ごめんなさい、ごめんなさい。寂しいなほんと！何でこの10倍の違いは。ばかやろう、お前、この20年間でおじさんは今、一気にまくってやろうと。ムチ入れてやな！笑 そう思っとるんやけど、これまたね、銭の桁がでかいやろ？これ10倍ちゃ、またひどい。それで、この間、あんたらちに言うた、12億ためて10年間、24%でためたら100億たまるっという経済観念はここから出たが。僕ね、あんぼんたんやけど、一応、頭のいい友達がといっぱいおるので計算してもらったが。とりあえず100億になるために、1,000億になるために計算してくれと。何%ぐらいの利回りですけど、とりあえず、とりあえず24%で計算しれくれ言うたら、あの計算が出てきたわけよ。あとは勇氣、行動、実行力やから、俺の場合はいけいけばんばんでやってやろうかなと思っとるだけや。できんと死ぬかもしれんけれども、でも夢はやっぱり到達してえ人生は・・・どう思う？到達せんたら先生、人生はむなしく人生は過ぎていくやろがね

メンバー：

そうですね

北野会長：

飲んだ？帰ろうかな。じゃ来月にハワイでやって

真田 孔明：

7月の・・・

北野会長：

7月からずっと東京でやる？

真田 孔明：

東京で・・・はい

北野会長：

どう。みんなは？

メンバー：

僕はハワイがいいです

北野会長：

みんなほら、金もうけできん人ばかりおっから 笑 俺はさ、みんな何億ぐらいあって投資信託やれば大丈夫かな？とあっちこっちあっちこっち言っとるんやけど、よく考えたら余り何か真実とは違うんやて。俺の最近の感覚では。きのうさ、株、ハワイから辻斬りの練習いうて、何回も言うとりんやけどした人が、孔明が1回とサッチェルが1回？もう1人誰か・・・悪人が1回。これぐらいのやから、あれを聞いて、言った俺が一番間違ごうてたっちゅう。言った俺が一番、全然よ、俺は自分のこの能力のことを俺は基本的に思っとるから。俺は、実行犯のがやて。政治家に言われた、これ買え言うたら必ず買う

メンバー：

はい

北野会長：

間違ごうたらえんこ指をとりに行くタイプやから。みんな嫌がるんやて。何で言うたら、俺の場合、黙って文句を言うタイプやから。よく東京でもよく言われるの。「何で社長が、会長が1回の間違いでこれだけ怒るのかわからんって」俺は言うがやて。いつも「お前ら、1回、許したら2回許す、2回許してくれ言うやろ？1回許せば2回許してくれって必ず、人間ちゃう。だから、俺は1回でいましめを大事にしたいよ」と・・・1回ね、1回失敗してこれをここに腿にバ〜ンと刺せば2回は失敗しにくい。ただ、それだけさ・・・わかった？

メンバー：

はい

北野会長：

胸を刺したら殺人やから。できたら足をピックで刺してください。結構、痛みは伝わりますから・・・ホンマそうやて。どっちが何が正解のがかさ。こんなもんね、何十回やっても何百回やっても一緒やて。金もうけの極意ちゃ、瞬時の。お前ら聞いておいて・・・瞬時な。金もうけっていうのは秒速でないんやから。その1000分の・・・医学的に言うたらナノ。ナノの世界や。1000分の1秒。1000分の1ミリの世界にあるがやから。アメリカの経済学者か何か1000分の1秒の株式会社は金をもうけとると。単行本をどこかの回線で1000分の1秒とったナノテクノロジーっていうのがあったよ。みんなそんなやて。だから、さっき皆さんが言うた銀行からの

投信はもうかる・・それは当たり前。これほど鉄板焼きのゲームはありません。銀行からね、投信をかうてみられ？絶対ね、1年間の配当金30万、額面は半分・・これが普通やから

メンバー：

うん

北野会長：

来月はハワイ。ハワイのいい店を見つけたから。結構いい。ハワイ全体を夜景を・・結構、景色がいいところ

真田 孔明：

ハワイに行ける人どのぐらいいるんですか？

北野会長：

結構、行けるね

真田 孔明：

ハワイに行ける人

北野会長：

みんな仕事で忙しい？

真田 孔明：

仕事？

メンバー：

まだ、半人前です。

北野会長：

俺、飲み代を払わんならんから、とりあえず、少ないほうがいい 笑

真田 孔明：

ハワイは特に高いですからね

北野会長：

ハワイは結構、高い

真田 孔明：

イカツイ値段しますよね、1人当たり

北野会長：

でも、孔明さんの清く、正しく、美しい文章の後ろ側があると思って読んでおいてくれん？みんな。俺が言ったことも後ろがあるんやから。清く、正しく、美しく。世のため、人のため、自分のためやぞ。この一言がね、一小節がないと人生は負けるが。自分のために。だから、そこら辺を重視してできたらね・・・ほとんどの人が失敗するよ。俺、はっきり言うけど、何人か知らんよ、ほとんどの人が俺ね、どんだけ言うとってもね、高い日を買って安い日に投げ売りする。ほとんど。最後に身投げするが・・・身投げするがやから。最後に人間ちゃ、身投げするね。これだけ俺が言っても先輩はみんな身投げするがやから・・・ホンマや。これね、結構寂しいものがあるやけど、でもそれはね、仕方ないね

メンバー：

はい

北野会長：

人間ちゃ、恐らくみんなね、俺は思うのはそんなもんでないかなと思う。ほとんどが20年生きてみたら、そんなにね、成功したの残らんから・・・

真田 孔明：

周りの人、死んでいきますよね。どんどん

北野会長：

でも、一緒なことを言っとる。一緒のことを聞いとっても、もう20年みたら、ほとんどいない。ほとんど。嫌な話しやけど。ほとんどおらん。俺なんかね、昔、俺の学校の先輩でなくてただの先輩ね、200億、不動産で300億、何千億、借金してビルを持っとった人がおったが。みんな、あのバブルの終焉で全部、飛んでイスタンブールやからね。その半分は死んだ。半分は死んだ！自殺しとる

真田 孔明：

本当の自殺ですか？

北野会長：

本当の自殺。経営者の半分は自殺しとる。3万人おったらね、今まで15,000人以上は自殺しとるの。責任腹をとって自殺する。そんなもんや。孔明も弱くなれば、これは自分の腹には刺せんが。だから、みんな高いところとかさ、電車で、簡単に薬を飲むとかさ。清算するが。青酸カリを飲んで清算する。ホンマ。ほとんどそう。ほとんどそう。だから人間は強いもんじゃない。俺はないと思う。勝てば官軍やて。勝てば官軍。本当にね、経済って本当にそういうところがある。だから、俺が言うのはできたら全部、勝ってほしい。勝ってというのは本当にね、少ない。こっから20年たって皆さんが、20年たってやよ。1回この店に会って、半分死んだるがやて。本当に半分死んだる・・・本当。俺の時代を見たら半分は死んで、半分は何か身体障害者で、残った本当にね、10%、残った10%を見ると、俺が思うは腹の悪いやつが生きとる

メンバー：

笑

北野会長：

これは嫌なことだけど、腹の悪いやつが生きとる。俺ね、東京の不動産屋の先輩、金貸しやらいっぱいおったが。これ生きとるやつがおるがやちゃ。生きとる不動産屋も、金貸しもおるがやちゃ。これ見たら、本当にこれは・・・と思った人が生き残っとるがちゃ。純情な人はほとんどね、何か岸壁なら身投げしたやら、ほとんど・・・

メンバー：

あ～

北野会長：

人間ちゃ、ホンマね、永遠にそうや。だから弱くなれば、弱くなると銀行にね、追い詰められる

真田 孔明：

隙を見せると

北野会長：

隙を見せると俺みたいにあやふややとはっきり言える。お前もはっきり。俺が保障したっていい。まさしく悪やから、こういうのって失礼やけど、こういう男は絶対に潰れん。たたかれても踏まれてもこれが普通やと思っとる。この横柄さ。これが生き延びる元になる。案外そんなもんや・・・人間ちゃ。だから弁護士さんやら、医者やら、経理士さんは弱い。あんたからみたら、10分の1の値はないよ。お前みたいに絶対にね、攻められたら弱いんやから。彼は攻められたら一番弱い職業。わしらしい加減な人間やから、全然、東から風が吹けば西へ行っとる。西から風が吹いたら東に行くやから。どんだけでも揺れるが。あやふやなことやて。常に方向を変える。これ一番強い男なの。これほんまに一番強い。女にでも、結婚するとか言って、妊娠した言われたら生んでくれ、とりあえず生んでくれと。50%以上は生まないから。50%以上は絶対に生まない

メンバー：

あ～

北野会長：

このあやふやの男の子供を生んでいいか悪いかって考える。あとは50%は「私、生理がきたとか」さ、「おろすのに銭をよこせ」とか言うわけよ、女。それはゲームのやり取り。ゲームのやり取り。でも愛はあやふややけど、恋は恋しいものやから。あんたもそこは大事にしてやってほしい。そこは大事にしてやってほしい。人の心は金で買えんから。人の心だけは金で買え

んよ。俺、これぐらい純情なことを言うところけど、最後は未練、残すな、金、残せやからね。これね、結構ギャップがあるんやけど、これを（パン、パン）わかる。孔明。肌のすれ違い。（パン）わかる。一瞬のものや。一瞬の感情や。今、走った感情も次の感情も同じ。肌と肌の触れ合いやから。袖すりあうも多生の縁いう、昔は言葉があったが

メンバー：

はい

北野会長：

でもね、すごいね、こういうばかなことが大事なこと。だから、サッチェルや孔明が言う。1割上がって売るなんて言うばかげたことを考えが間違っとなる。あんた1円やよ。お前ら、1円上がったら絶対に売れよ。最近、株でも50銭いう株があるけど。でも、50銭で売ったらあかん！

メンバー：

笑

北野会長：

1円で売れるやつが一番、金もうかるがやちゃ。やってみら、お前ら。絶対にもうかる。あんなもんね、投信なんてばかくさいくてやっとなれん。なる、絶対になる。違うんやから。1日ね、1%でも10回やれば10%や。投信なんかせいぜい高いところで2、3%。頂上で。今、1%ほどや・・・みんな、売らんと思っとったら1%でしか回らん、1%は年間12%で回るけど、あれは俺から言うたら馬鹿がやっとなる商売。だから、俺、きのうは声を張り上げて買ったら売る。くせをつけとらんと今度、下がったときに、下がったときに、下がったドカンで1回見つけられたら一生の金もうかる

メンバー：

おお～